

令和3年度みえ森と緑の県民税基金事業（資料編）

目次

①	みえ森と緑の県民税基金積立金事業	1-1
②	災害に強い森林づくり推進事業	1-2
	ア. 災害緩衝林整備事業	
	イ. 土砂・流木緊急除去事業	
③	森林情報基盤整備事業	1-41
④	森を育む人づくりサポート体制整備事業	
	ア. 森林教育体制整備事業	1-48
	イ. みえ森づくりサポートセンター運営事業	1-59
	ウ. 森林教育施設整備事業	1-71
⑤	生物多様性推進事業	1-75
⑥	森林とふれあう自然公園環境整備事業	1-78
⑦	みえ森と緑の県民税市町交付金事業	2-1
	ア. みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業	2-3
	a. 流域防災機能強化対策事業	
	b. 森林再生力強化対策事業	
	イ. みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業	2-17
	a. 災害からライフラインを守る事前伐採事業	
	ウ. みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業	3-1
⑧	みえ森と緑の県民税制度運営事業	33-1

令和 3 年度みえ森と緑の県民税基金事業の構成

	決算額 (千円)
積立総額	1,147,018
① <u>みえ森と緑の県民税基金積立金事業</u>	1,147,018
取崩総額	1,090,152
② 災害に強い森林づくり推進事業	376,955
ア. <u>災害緩衝林整備事業</u>	323,451
イ. <u>土砂・流木緊急除去事業</u>	53,504
③ <u>森林情報基盤整備事業</u>	83,807
④ 森を育む人づくりサポート体制整備事業	69,443
ア. <u>森林教育体制整備事業</u>	14,940
イ. <u>みえ森づくりサポートセンター運営事業</u>	27,983
ウ. <u>森林教育施設整備事業</u>	26,520
⑤ 野生生物保護事業	4,187
ア. <u>生物多様性推進事業</u>	4,187
⑥ 自然公園利用促進事業	7,488
ア. <u>森林とふれあう自然公園環境整備事業</u>	7,488
⑦ <u>みえ森と緑の県民税市町交付金事業</u>	541,077
ア. <u>みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業</u>	171,333
a. <u>流域防災機能強化対策事業</u>	153,889
b. <u>森林再生力強化対策事業</u>	17,444
イ. <u>みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）事業</u>	14,405
a. <u>災害からライフラインを守る事前伐採事業</u>	14,405
ウ. <u>みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業</u>	355,339
⑧ <u>みえ森と緑の県民税制度運営事業</u>	7,195

※下線の事業毎に事業別評価シートを作成しています。

災害に強い森林づくり推進事業

三重県農林水産部治山林道課

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、県が流木災害等を軽減するため、①溪流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩衝する溪流沿いの森林整備、③倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

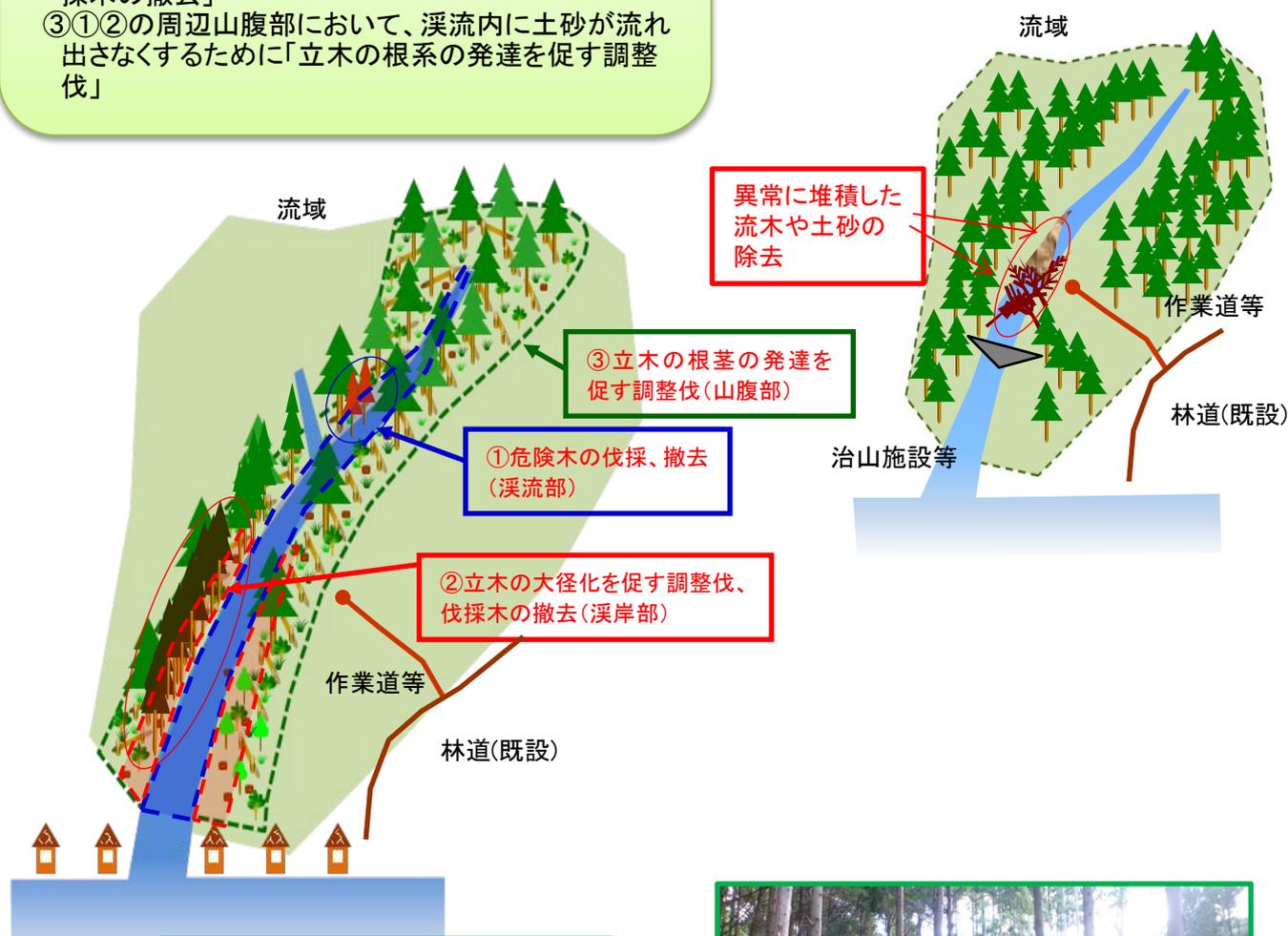
また、豪雨時に流下して下流に被害を与えるおそれのある治山施設等に異常に堆積した流木や土砂等について、除去を行います。

I 災害緩衝林整備事業

- ①溪流部において、流木になる恐れのある危険木を下流へ流れ出さなくするために「危険木の伐採、撤去」
- ②①の周辺溪岸部において、上流からの土砂の流下を緩和するために「立木の大径化を促す調整伐、伐採木の撤去」
- ③①②の周辺山腹部において、溪流内に土砂が流れ出さなくするために「立木の根茎の発達を促す調整伐」

II 土砂・流木緊急除去事業

豪雨等によって流出し人家等に被害を与える恐れのある「異常に堆積した流木や土砂等の除去」



整備前の森林状況



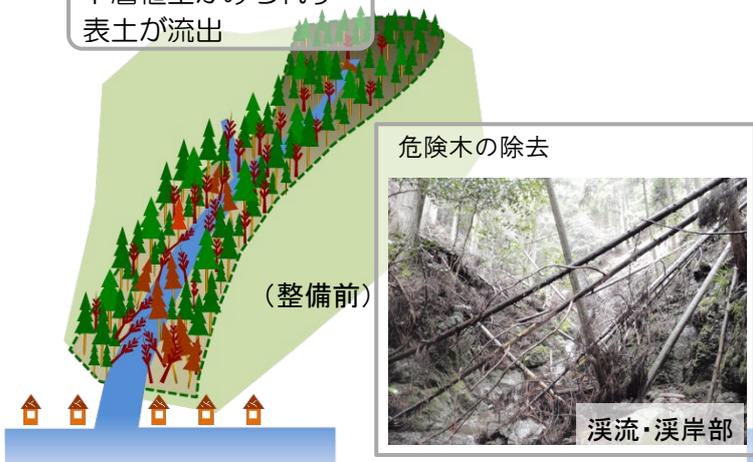
整備後の森林状況(紀宝町内)

災害緩衝林整備事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、流木災害等を軽減するため、①溪流内の危険木の除去、②流木や土砂の流下を緩衝する溪流沿いの森林整備、③倒木や土砂の溪流への流入を抑制する山腹斜面での森林整備など、災害緩衝林の整備を進めます。

<整備前の森林の状態>

- 流出する恐れのある危険木が存在
- 間伐不足で過密小径な林分
- 下層植生がみられず表土が流出

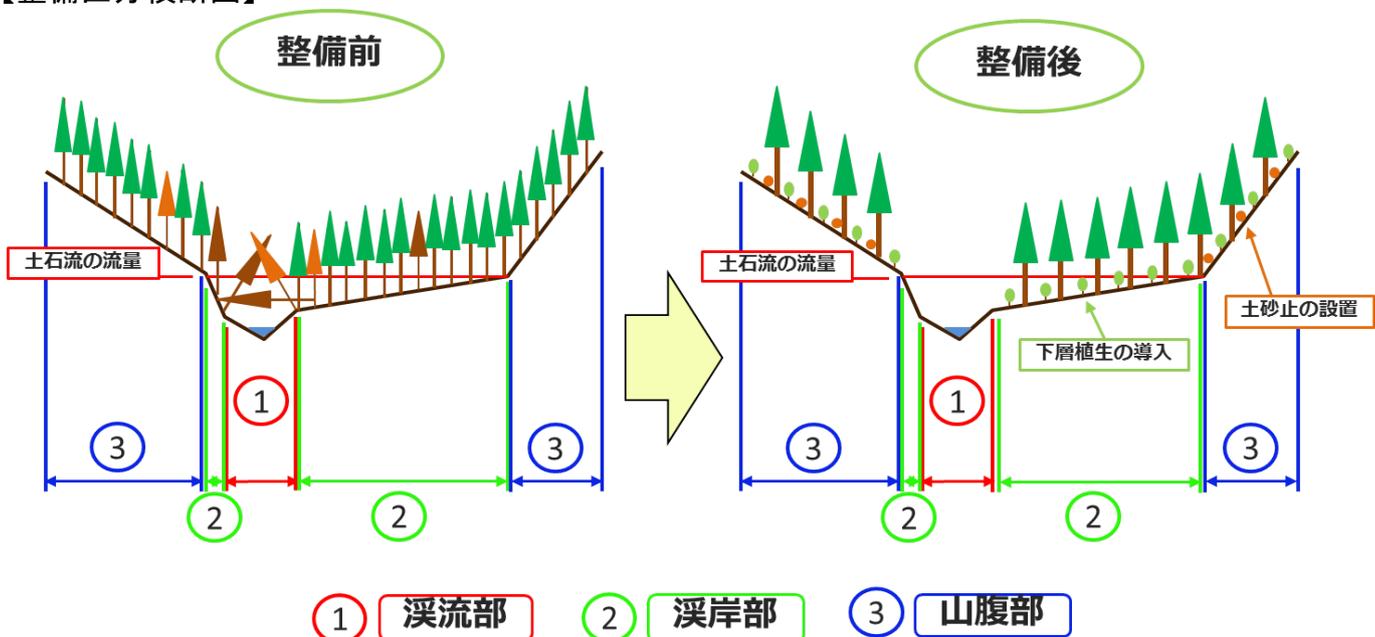


<整備区分 青字：立地環境 赤字：整備内容>

- ①溪流部で危険木の除去⇒流木発生抑制
- ②溪岸部で調整伐による立木の大径化促進⇒森林の抵抗力の増加⇒流木・土砂等流下緩衝
- ③山腹部で調整伐による根系の発達促進、土砂止の設置⇒斜面の安定化⇒流木・土砂等流出抑制

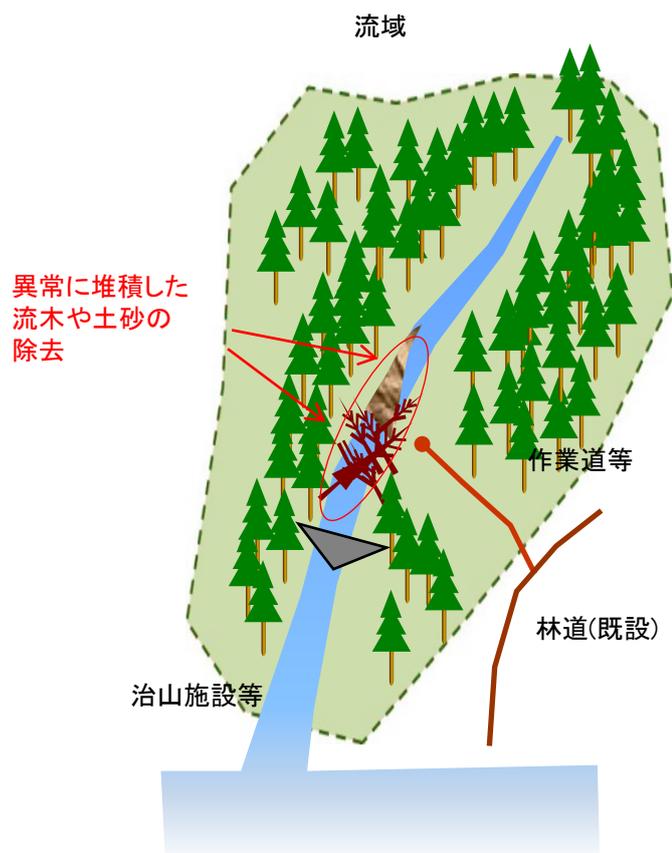


【整備区分横断図】



土砂・流木緊急除去事業

近年頻発する豪雨等の異常気象の増加をふまえ、流木や土砂の流出による災害発生の恐れのある溪流沿いの森林を対象に、治山施設等に異常に堆積した土砂や流木について、台風や豪雨の際に流出して下流に被害を与えるおそれのあるものを撤去します。



治山施設に異常に堆積した流木



流木撤去後（大台町）

令和3年度災害に強い森林づくり推進事業 実施箇所表

災害緩衝林整備事業

NO	施行箇所				危険木等 除去体積 (m ³)	危険木等 除去単価 (円/ m ³)	調整伐 (ha)	調整伐単 価(円/ ha)	工事費 (千円)	コスト縮 減額(千 円)	保全対象	進捗状況	搬出方法
	郡(市)	町	大字	字									
1	三重	菰野	杉谷	一之瀬	107.6	4,691	2.10	361,066	6,124	426	人家17戸、国道、 町道、キャンプ場	完成	車両
2	(鈴鹿)	—	西庄内町	深沢	20.0	4,691	2.22	455,280	3,466	163	林道	完成	車両
3	(亀山)	—	関町金場	植切	43.0	7,481	3.11	375,741	5,483	156	人家2戸、国道、 鉄道、農地	完成	車両 +山腹引上
4	(亀山)	—	関町市瀬	野々谷	10.0	4,691	1.64	405,524	2,912	0	人家4戸、国道	完成	車両
5	(亀山)	—	関町沓掛	安間平	22.0	6,873	2.45	229,018	2,661	0	人家8戸、国道	完成	車両 +山腹引上
6	(亀山)	—	加太梶ヶ坂	虻谷	63.0	6,596	2.79	356,154	4,566	357	林道、鉄道	完成	車両 +山腹引上
7	(津)	—	白山町福田山	附田	32.0	4,936	5.56	356,154	7,607	325	人家33戸、県道	完成	車両
8	(津)	—	美杉町下之川	大谷	49.0	4,691	0.72	482,142	2,671	206	人家20戸、市支所、 県道、市道、農地	完成	車両
9	(津)	—	白山町小杉	樋ノ口	126.0	27,298	8.65	725,046	18,822	461	人家11戸、県道 市道、林道	施工中	車両
10	(松阪)	—	嬉野岩倉町	倉狭間	76.0	2,273	0.11	295,436	4,499	0	人家1戸、県道、 農地	完成	架線
11	(松阪)	—	与原町	ウスギ	93.0	2,457	0.27	558,185	4,651	1,064	人家1戸、県道、 農地	完成	架線
12	(松阪)	—	与原町	カテガ谷	106.0	2,536	1.49	583,087	8,234	1,399	人家2戸、県道	完成	架線
13	(松阪)	—	飯南町下仁柿	中倉	212.0	1,145	0.00	0	8,049	4,033	人家13戸、市道	完成	架線
14	多気	多気	長谷	柿木谷	127.0	1,197	0.49	418,971	10,500	423	人家58戸、市道、 農地	完成	架線
15	多気	大台	唐櫃	横谷 (西ハカセ)	458.0	704	0.82	554,530	16,492	425	人家37戸、町道、 農地	完成	架線
16	多気	大台	栗谷	大西谷	447.0	59	0.00	0	14,351	212	人家6戸、簡易水道、 国道、林道	完成	車両
17	多気	大台	下真手	荷ノ倉	424.0	953	0.00	0	14,788	201	人家19戸、町道、 林道	完成	車両
18	度会	度会	五ヶ町	小ヅカト	12.4	17,119	10.46	435,100	16,745	0	県道	完成	山腹引上
19	度会	南伊勢	伊勢路	下池谷	27.0	21,344	4.15	482,600	8,118	0	人家10戸、公民館、 県道	施工中	山腹引上
20	度会	大紀	崎	猿田原	6.6	23,892	15.78	465,100	25,137	0	林道	施工中	山腹引上
21	(伊賀)	—	島ヶ原	観節1	2.6	15,372	9.35	401,659	7,609	0	市道、農道	完成	山腹引上
22	(伊賀)	—	高尾	奥出	27.6	14,186	2.99	458,538	4,351	641	人家12戸、県道、 市道、林道	完成	車両
23	(伊賀)	—	島ヶ原	観節2	61.9	13,172	6.85	349,700	7,296	0	市道、林道、 農地	完成	山腹引上
24	(伊賀)	—	奥馬野	オク1	15.6	11,752	5.06	393,438	5,291	47	人家37戸、県道、 農地	完成	車両 +山腹引上
25	(伊賀)	—	奥馬野	オク2	6.5	13,666	1.49	596,247	2,782	0	人家37戸、県道、 農地	完成	山腹引上
26	(尾鷲)	—	三木浦町	早田道	124.0	10,595	2.55	407,831	8,723	0	人家10戸、国道	完成	架線
27	北牟婁	紀北	十須	江竜	337.0	10,635	4.67	246,988	22,000	0	人家11戸、林道	施工中	架線
28	(熊野)	—	紀和町矢ノ川	後地	144.0	7,184	3.05	356,154	9,316	0	人家10戸	完成	架線 +山腹引上
29	南牟婁	紀宝	鮎田	市畑	164.3	12,690	5.29	439,200	11,558	0	人家3戸、県道、 工場	施工中	山腹引上
30	(熊野)	—	紀和町小船	露谷	13.1	12,671	4.29	335,970	3,785	0	人家5戸、県道	完成	山腹引上
	合計	15市町		30箇所	3,358.2	8,918	108.4	384,162	268,587	10,539			

土砂・流木緊急除去事業

工事 番号	施行箇所				土砂体積 (m ³)	土砂単価 (円/ m ³)	流木体積 (m ³)	流木単価 (円/m ³)	工事費 (千円)	コスト縮 減額(千 円)	保全対象	工期	搬出方法
	郡市	町	大字	字									
1	(いなべ)	—	大安町宇賀	西ヶ窪	8.0	3,631	0	0	74	0	人家1戸、市道、 ため池、農地	完成	建設機械
2	(松阪)	—	飯高町舟戸	大崩	1853.0	2,811	0	0	10,668	0	人家13戸、市道、 林道、公民館、農地	完成	建設機械
3	多気	大台	桧原	東又谷	1751.0	5,562	0	0	15,236	0	人家12戸、国道、 集会所、農地	完成	建設機械
4	北牟婁	紀北	十須	江竜	87.0	4,523	14.2	9,736	4,800	0	林道	完成	建設機械
	合計	4市町		4箇所	3,699.0	4,210	14.2	2,434	30,778	0			

災害に強い森林づくり推進事業合計

合計	16市町		34箇所						299,365	10,539			
----	------	--	------	--	--	--	--	--	---------	--------	--	--	--

溪流部 危険木除去

事例1 菰野町(一之瀬)
整備前



整備後



溪岸部 調整伐

事例1 菰野町(一之瀬)
整備前



整備後



山腹部 調整伐

事例1 菰野町(一之瀬)
整備前



整備後



搬出作業状況

事例1 菰野町(一之瀬)



溪流部 危険木除去

事例2 津市(附田)
整備前

整備後



溪岸部 調整伐

事例2 津市(附田)
整備前

整備後



山腹部 調整伐

事例2 津市(附田)
整備前



整備後



搬出作業状況

事例2 津市(附田)
集材状況



溪流部 危険木除去

事例3 松阪市(カテガ谷)
整備前



整備後



溪岸部 調整伐

事例3 松阪市(カテガ谷)
整備前



整備後



山腹部 調整伐

事例3 松阪市(カテガ谷)
整備前



整備後



搬出作業状況

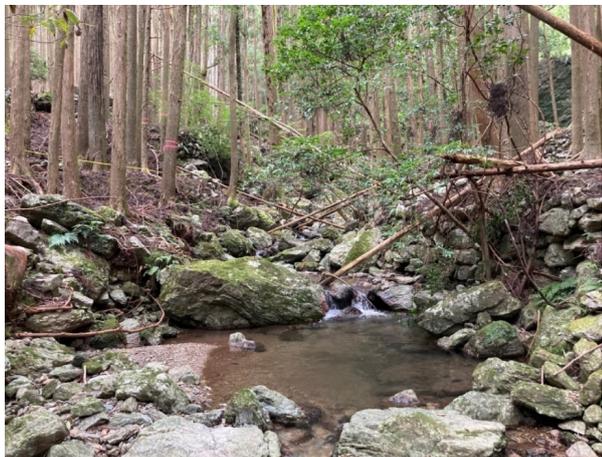
事例3 松阪市(カテガ谷)

搬出状況



溪流部 危険木除去

事例4 度会郡(小ヅカト)
整備前



整備後



山腹部 調整伐

事例4 度会郡(小ヅカト)
整備前



整備後



溪流部 調整伐

事例4 度会郡(小ヅカト)
整備前



整備後



溪流部 調整伐

事例4 度会郡(小ヅカト)
整備前



整備後



溪流部 危険木除去

事例5 伊賀市(奥出)
整備前



整備後



溪岸部 調整伐

事例5 伊賀市(奥出)
整備前



整備後



山腹部 調整伐

事例5 伊賀市(奥出)
整備前



整備後



搬出作業状況

事例5 伊賀市(奥出)

集材状況



溪流部 危険木除去

事例6 尾鷲市(早田道)
整備前



整備後



溪岸部 調整伐

事例6 尾鷲市(早田道)
整備前



整備後



山腹部 調整伐

事例6 尾鷲市(早田道)
整備前



整備後



山腹部 調整伐

事例6 尾鷲市(早田道)
整備前



整備後



溪流部 危険木除去

事例7 紀和町(露谷)
整備前

整備後



溪岸部 調整伐

事例7 紀和町(露谷)
整備前

整備後



山腹部 調整伐

事例7 紀和町(露谷)
整備前

整備後



土砂・流木緊急除去

事例1 いなべ市(西ヶ窪)
整備前



整備後



土砂・流木緊急除去

事例1 いなべ市(西ヶ窪)
整備前



整備後



土砂除去(上流部)

事例2 多気町(大崩)
整備前

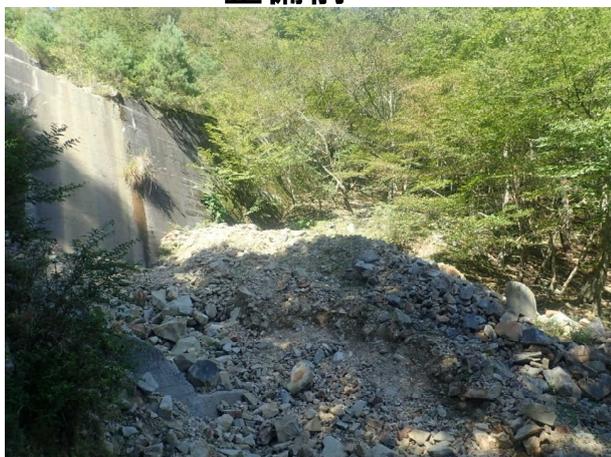


整備後



土砂除去(上流部)

事例2 多気町(大崩)
整備前



整備後



土砂除去(中流部)

事例2 多気町(大崩)
整備前



整備後



土砂除去(中流部)

事例2 多気町(大崩)
整備前



整備後



土砂除去(下流部)

事例2 多気町(大崩)
整備前



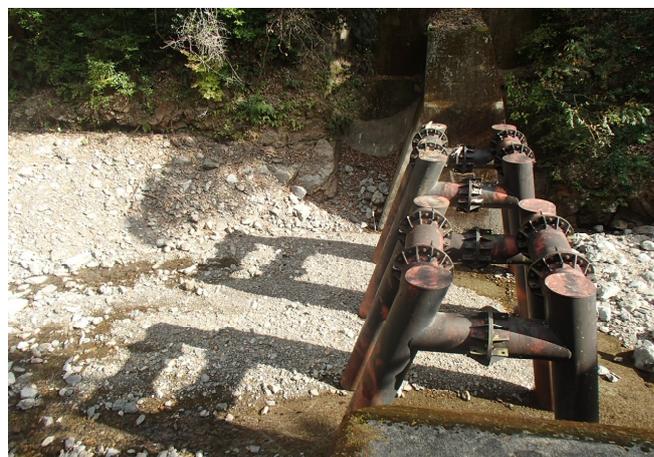
整備後



土砂・流木緊急除去

事例3 北牟婁郡(江竜)
整備前

整備後



土砂・流木緊急除去

事例3 北牟婁郡(江竜)
整備前

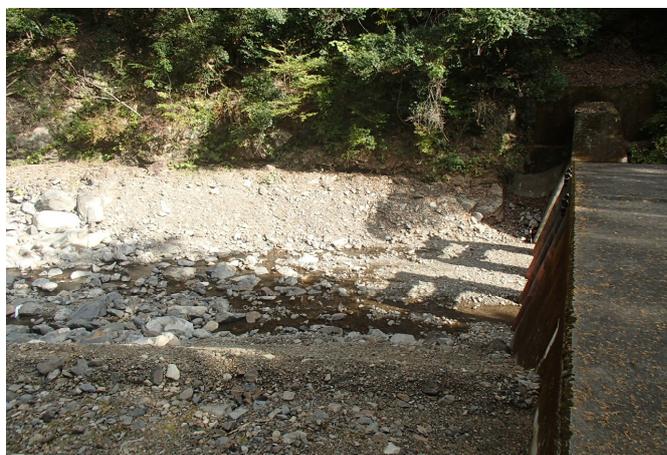
整備後



土砂・流木緊急除去

事例3 北牟婁郡(江竜)
整備前

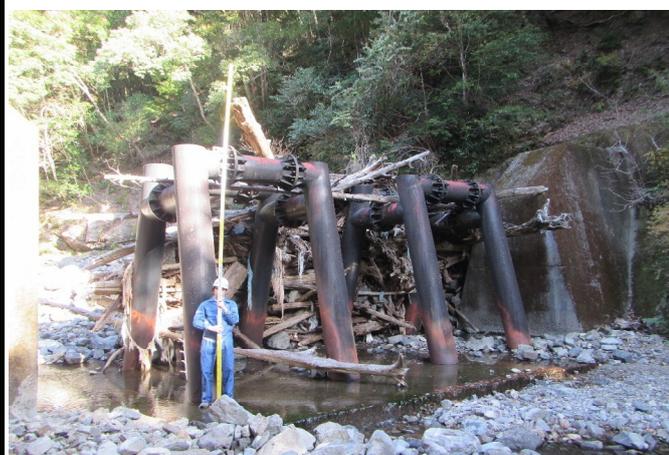
整備後



土砂・流木緊急除去

事例3 北牟婁郡(江竜)
整備前

整備後



土砂・流木緊急除去

事例3 北牟婁郡(江竜)
整備前

整備後



災害に強い森林づくり推進事業のPR

1. パネル展示

令和3年度に各県庁舎及び各市町村庁舎等の31箇所でPRのためのパネル展示を実施しました。

2. 工事現場でのPR

各工事実施現場で「みえ森と緑の県民税」を活用した事業であることをPRするため、下記の①～③を実施しました。

- ① 施工前に「のぼり」を設置
- ② 施工中に工事看板を設置
- ③ 完成後にPR標柱を設置

3. 事業実績を三重県HPに公開

平成26年度～令和2年度の事業実績として、事業箇所一覧表、位置図及び箇所ごとの整備図面、整備対比写真を公開しています。(令和3年度の事業実績については現在準備中です。)

災害に強い森林づくり推進事業 PR展示等の展示場所及び展示期間

県庁舎

令和4年5月20日現在

	展示場所	展示期間	日数
本庁	本庁舎 1F県民ホール	令和4年2月14日 ~ 令和4年2月18日	5
四日市農林事務所	1階県民ホール	令和4年1月17日 ~ 令和4年1月28日	12
津農林水産事務所	津庁舎ロビー	令和4年1月11日 ~ 令和4年1月21日	11
松阪農林事務所	庁舎玄関ホール	令和4年1月24日 ~ 令和4年2月7日	15
伊勢農林水産事務所	庁舎2階ロビー	令和4年1月26日 ~ 令和4年3月31日	65
伊賀農林事務所	2Fロビー	令和3年7月30日 ~ 令和3年8月31日	33
伊賀農林事務所	2Fロビー	令和4年1月15日 ~ 令和4年1月31日	17
尾鷲農林水産事務所	尾鷲庁舎玄関ホール	令和4年3月1日 ~ 令和4年3月9日	9
熊野農林事務所	熊野庁舎1F	令和3年12月24日 ~ 令和4年1月7日	15

市町村庁舎等

	展示場所	展示期間	日数
四日市市	四日市市役所農水振興課窓口	令和4年2月15日 ~ 令和4年3月16日	30
桑名市	桑名市役所庁舎	令和4年2月24日 ~ 令和4年3月11日	16
いなべ市	シビックコア棟1F壁面	令和4年3月11日 ~ 令和4年3月11日	1
亀山市	亀山市役所農林振興課窓口	令和4年1月4日 ~ 継続展示中	137
鈴鹿市	鈴鹿市役所1F市民ロビー	令和4年3月7日 ~ 令和4年3月11日	5
木曽岬町	木曽岬町役場ロビー	令和4年1月17日 ~ 令和4年5月9日	113
東員町	東員町舎1Fロビー	令和4年3月14日 ~ 令和4年3月25日	12
川越町	川越町役場庁舎ホール	令和4年3月14日 ~ 令和4年3月18日	5
朝日町	朝日町役場1F玄関ロビー	令和4年2月14日 ~ 令和4年2月28日	15
朝日町	朝日町役場2F大会議室前ガラス面	令和4年2月14日 ~ 令和4年2月28日	15
菰野町	菰野町図書館1Fギャラリー	令和4年1月26日 ~ 令和4年2月4日	10
菰野町	菰野町農村環境改善センター1Fロビー	令和4年1月26日 ~ 継続展示中	115
津市	津市白山庁舎 玄関(階段)	令和4年1月12日 ~ 令和4年2月28日	48
松阪市	松阪市役所林業振興課事務所カウン ター(飯高地域振興局内)	令和4年1月7日 ~ 令和4年3月31日	84
明和町	明和町役場西側ロビー及び研修室	令和4年2月7日 ~ 令和4年2月16日	10
多気町	BANKYO文化会館(多気町民文化会館)	令和4年3月1日 ~ 令和4年3月18日	18
大台町	宮川総合支所1Fロビー	令和4年1月11日 ~ 令和4年1月25日	15
伊賀市	3Fフロアの一部	令和4年2月1日 ~ 令和4年2月15日	15
名張市	1F展示スペース	令和4年3月18日 ~ 令和4年3月31日	14
熊野市	熊野市文化交流センター	令和4年1月18日 ~ 令和4年1月21日	4
御浜町	御浜町役場1F	令和4年2月7日 ~ 令和4年3月25日	47
紀宝町	紀宝町役場1F	令和4年1月17日 ~ 令和4年3月25日	68

県庁舎及び市町村庁舎等の PRパネル展示状況



菰野町(図書館)



伊賀庁舎



大台町(宮川総合支所)



熊野庁舎



工事現場のPR状況

1. 施工前に「のぼり」を設置



2. 施工中の工事看板に税の内容を記載して設置



3. 完成後にPR標柱を設置



本文へ | Foreign Languages

文字サイズ変更 元に戻す 縮小 拡大

色の変更 標準 青 黄 黒



Q サイト内検索 検索

- [🏠](#)
- [くらし・環境](#)
- [防災・防犯](#)
- [健康・福祉・子ども](#)
- [スポーツ・教育・文化](#)
- [観光・産業・しごと](#)
- [まちづくり](#)
- [県政・お知らせ情報](#)
- [組織・業務](#)

現在位置: [トップページ](#) > [観光・産業・しごと](#) > [森林・林業](#) > [みんなで支える森林づくり](#) > [みえ森と緑の県民税](#) > [県の事業](#) > [令和2年度災害に強い森林づくり推進事業の取組実績](#)
 担当所属: [県庁の組織一覧](#) > [農林水産部](#) > [みどり共生推進課](#) > [みどり推進班](#)

≡ みえ森と緑の県民税

- ▶ [トピックス](#)
- ▶ [みえ森と緑の県民税とは](#)
- ▶ [県の事業](#)
- ▶ [市町の事業](#)
- ▶ [県・市町の連携事業](#)
- ▶ [評価制度](#)
- ▶ [導入経緯と見直し](#)

LINEで送る

印刷する

「みえ森と緑の県民税」を活用した県で取り組む事業

三重県では、近年頻発する豪雨等の異常気象による山地災害を防ぐため、平成26年度から「みえ森と緑の県民税」を活用し、流木や土砂の流出の発生のある恐れのある渓流沿いの森林において、「災害に強い森林づくり推進事業」に取り組んでいます。
 「災害に強い森林づくり推進事業」は、次の2つの事業を実施しています。
 「災害緩衝林整備事業」では、渓流内の危険木の除去、流木や土砂の流出を軽減するための森林整備。
 「土砂・流木緊急除去事業」では、治山施設等に異常に堆積して流出の恐れがある土砂や流木の除去。

令和2年度に実施した箇所を以下の一覧表にまとめましたのでご覧ください。
 また、一覧表の地図写真欄のPDFをクリックすると箇所毎の地図と写真（整備前と整備後の対比写真）がご覧になります。

PDF 令和2年度事業位置図 ①

令和2年度災害に強い森林づくり推進事業実施箇所一覧表
 災害緩衝林整備事業

市町名	大字等	地区名	危険木等除去体積(m3)	調整伐面積(ha)	地図写真
鈴鹿市	西庄内町	池ノ谷	9	5.68	PDF
亀山市	加太向井	袖ノ木	88	5.30	PDF
亀山市	加太梶ヶ坂	虻谷	94	3.89	PDF
津市	白山町福田山	附田	239	9.40	PDF
津市	美杉町下之川	大谷	246	3.32	PDF
津市	白山町小杉	樋ノ口	179.5	1.24	PDF
松阪市	小片野町	井口	54	0.88	PDF
松阪市	後山町	下ノ古城	15	1.37	PDF
松阪市	飯南町横野	長谷	54	1.47	PDF
松阪市	飯南町上仁柿	平谷	65	1.71	PDF
多気町	長谷	柿木谷	57	0.81	PDF
多気町	神坂	門田	66	0.07	PDF
大台町	唐櫃	横谷	159	2.57	PDF
多気町	長谷	柿木谷2	44	1.48	PDF
松阪市	飯南町上仁柿	平谷2	33	3.32	PDF
南伊勢町	伊勢路	セトダニ	16.5	6.36	PDF
大紀町	大内山	今瀬谷	0.9	5.76	PDF
大紀町	大内山	錦谷	2.5	4.02	PDF
伊賀市	上阿波	奥那須ヶ原	205.8	6.15	PDF
伊賀市	奥馬野	下馬野	22.8	2.50	PDF
伊賀市	鳥ヶ原	観節	28.6	7.57	PDF
伊賀市	高尾	奥出	66	35.53	PDF
尾鷲市	早田町	矢瀬	76	1.54	PDF
紀北町	鳥原	袖原	260	3.10	PDF
尾鷲市	南浦	小原野奥石谷	107.1	7.21	PDF
尾鷲市	三木里町	定山	107	1.39	PDF
熊野市	井戸町	鷲ノ谷	168.4	13.90	PDF

②

熊野市	紀和町矢ノ川	後地	215	6.20	PDF
紀宝町	高岡	蛇崩	27	0.56	PDF
紀宝町	鮎田	茶木原	22	1.96	PDF
合計			2,728.1	146.26	

土砂・流木緊急除去事業

市町名	大字等	地区名	土砂撤去体積 (m3)	流木撤去体積 (m3)	地図 写真
松阪市	飯高町舟戸	大崩	1,072		PDF
大台町	桧原	東又谷	4,991		PDF
名張市	青蓮寺	青蓮寺山		104	PDF
紀北町	島勝浦	中熊	88		PDF
合計			6,151	104	

本ページに関する問い合わせ先

三重県 農林水産部 みどり共生推進課 みどり推進班

〒514 8570 津市広明町13番地(本庁6階)

電話番号: 059 224 2513 ファクス番号: 059 224 2070 メールアドレス: midori@pref.mie.lg.jp

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください

- お求めの情報は充分掲載されておりましたか？ 充分だった ぶつう 足りなかった
- このページの内容や表現は分かりやすかったですか？ 分かりやすかった ぶつう 分かりにくかった
- この情報はすぐに見つけられましたか？ すぐに見つかった ぶつう 時間がかかった

送信する

ページID : 000262206

[このページのトップへ](#)[リンク・著作権・免責事項・ダウンロード](#) | [個人情報保護ポリシー](#) | [ウェブアクセシビリティ](#) | [サイトに関するご意見・お問い合わせ](#)

三重県庁 | 〒514 8570 三重県津市広明町13番地 三重県庁電話案内: 059 224 3070 法人番号5000020240001

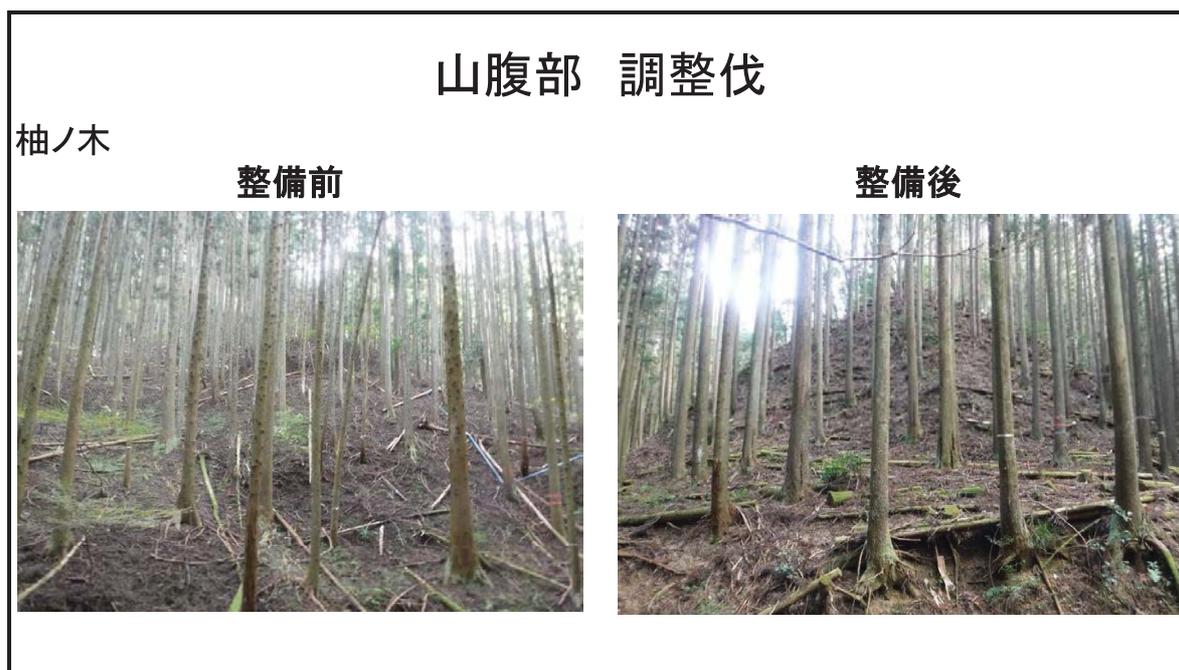
[県庁案内](#)

各ページの記載記事、写真の無断転載を禁じます。 Copyright © 2015 Mie Prefecture, All rights reserved.

三重県ホームページ掲載内容 ②



三重県ホームページ掲載内容 ②



令和3年度 災害に強い森林づくり推進事業
 効果検証にかかる調査・研究事業 (林業研究所)

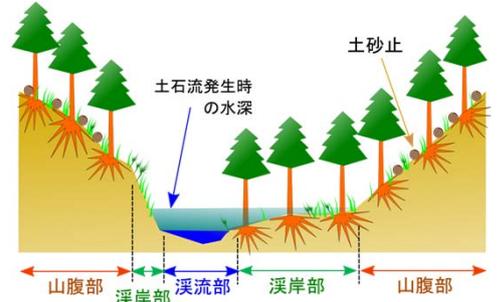
事業目的と検証事項

- 山腹部・・・調整伐による立木の成長の促進、
 斜面安定効果及び土砂流亡抑制効果発揮に対して

効果検証が必要な事項 ・斜面安定効果、土砂流亡抑制効果は発揮できるか？ ..項目1
 ・立木の成長は促進されるか？ ..項目2
- 溪岸部・・・調整伐による立木の成長の促進に対して

効果検証が必要な事項 ・立木の成長は促進されるか？ ..項目2
- 溪流部・・・危険木除去による流木発生抑制効果に対して

効果検証が必要な事項 ・流木発生抑制効果は持続しているか？ ..項目3



効果検証にかかる調査・研究

項目1 樹木根系による斜面安定効果調査
 根系発達による斜面安定効果を検証するために

- ① 根系分布調査、根引き抜き試験により、表層崩壊防止力を把握
- ② 土砂流亡量調査で、土砂流亡抑制効果の持続期間を把握



調整伐と伐倒木を利用した土砂止の設置



根引き抜き試験



根引き抜き試験及び根系分布調査の実施、土砂流亡量の継続調査

項目2 UAV(ドローン)を用いた森林モニタリング調査
 成長促進効果を検証するために

UAV空撮画像の解析により事業実施箇所の森林状況の変化を把握



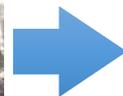
調整伐実施後の状態変化を調査

項目3 整備森林における危険木発生状況調査
 危険木除去による流木発生抑制効果を検証するために

危険木を除去した溪流での流木等危険木発生状況を把握



危険木除去



現状？

項目1 樹木根系による斜面安定効果調査 (R1~5)

目的

- ①根系による表層崩壊防止力の把握・・・山腹部における調整伐実施による斜面安定効果(樹木根系の支持機能向上)を明らかにする。
- ②土砂流亡量の継続調査・・・調整伐実施、土砂止設置による土砂流亡抑制効果の持続期間を明らかにする。

方法

- ①根引き抜き試験と根系分布調査から根系による表層崩壊防止力を明らかにし、調整伐実施地と未実施地との比較検証を行う。
- ②平成27~29年度に土砂流亡量観測を行った試験地の一部で土砂流亡量の継続観測を行い、土砂流亡抑制効果の持続期間を検証する。三重大学との共同研究で実施する。

実施した内容

- ①津市内の39年生スギ林、54年生ヒノキ林において、調整伐後6年経過した調整伐実施地と未実施地で各3~4断面の根系分布調査を行うことで得られたデータに対し、昨年度までに根引き抜き試験から構築した崩壊防止力推定モデルを適用して崩壊防止力を推定した。一般的に、調整伐後は一時的に崩壊防止力は低下するが、調整伐実施地では未実施地と同程度まで崩壊防止力が高まっていた(図-1)。
- ②県内3カ所の試験地において、土砂受け箱内に入った土砂を2カ月おきに調査することで土砂流亡量の観測を行った。調整伐後の林床被覆率上昇に伴う土砂流亡量の減少傾向が持続していた(図-2)。

今後の予定

- ①引き続き、調整伐実施地と未実施地における根系分布調査を行い、根系による表層崩壊防止力のデータを収集する。調整伐実施地と未実施地との比較により調整伐の効果を検証する。
- ②土砂流亡量の観測を継続し、土砂流亡抑制効果の持続期間を明らかにする。

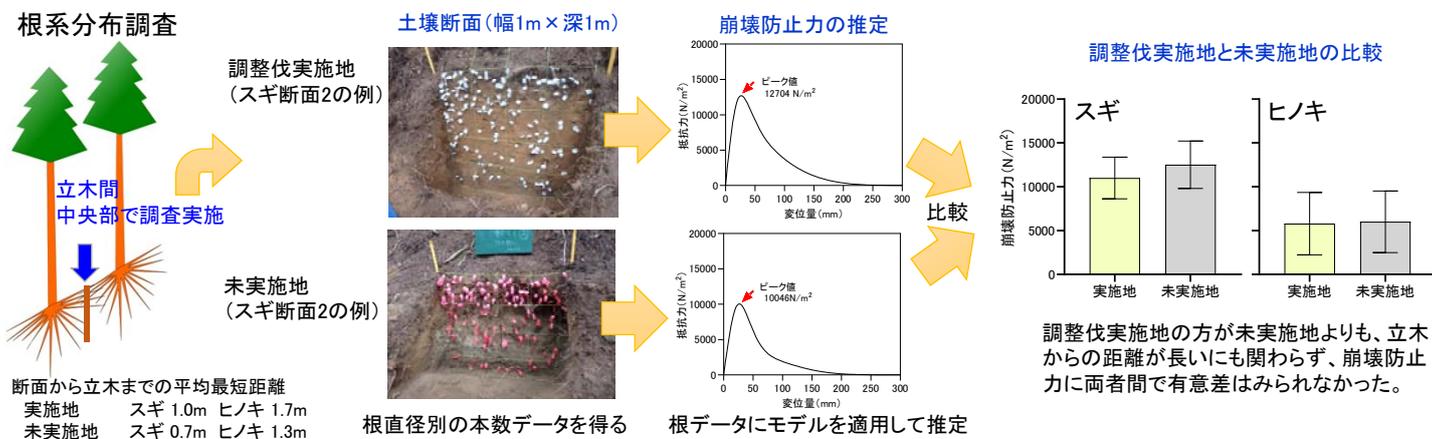


図-1. 根系分布調査による崩壊防止力の推定(津市内の調整伐後6年経過林分の事例)

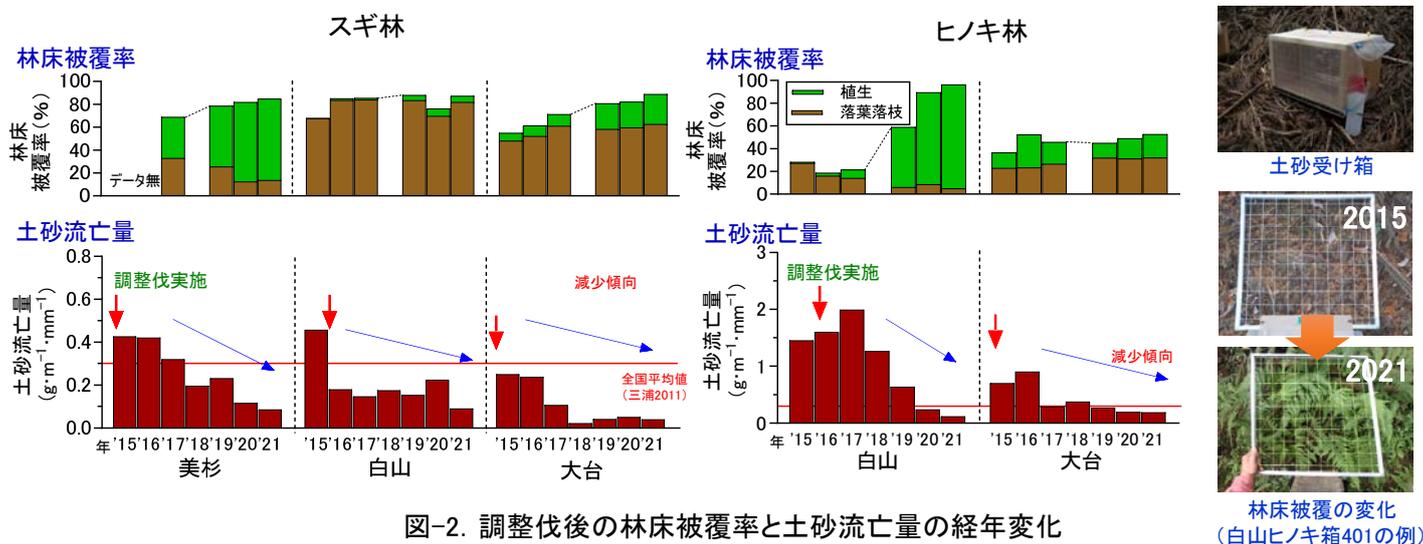


図-2. 調整伐後の林床被覆率と土砂流亡量の経年変化

項目2 UAVを用いた森林モニタリング調査 (R1~5)

目的

山腹部、溪岸部での調整伐による立木の肥大成長促進や健全性向上の効果を明らかにする。

方法

平成26年度より、航空レーザ測量データを用いて調整伐前後の森林状態の変化を広域的にモニタリングしている。UAV(ドローン)を使用することで、面積は限定されるものの低コストで即時的に森林情報を得られる可能性がある。そのため、令和元年度以降、UAVから高精度で森林情報を取得するための技術を開発し、UAVを用いて既に設定したモニタリング区域の一部や他の事業実施地において、調整伐後の森林状態を複数年追跡調査することで、調整伐の実施効果を引き続き検証する。名古屋大学との共同研究で実施する。

実施した内容

平成26年度設定モニタリング区域内(大台町)において令和元年度に設定した3カ所の空撮区域、令和元年度事業実施地などにおいて令和元~2年度に設定した4カ所の空撮区域で空撮を行った(図-3、4)。今年度はこれまでの一定高度からの空撮に加えて対地高度一定での空撮を行った。同時に、各空撮区域内において、精度検証データ取得のため現地で立木の実測調査を行った。得られたデータは共同研究先の大学に提供し、森林情報解析技術の開発(図-6)、空撮画像解析(図-5)、最適な空撮・解析条件の探索を行った。

今後の予定

引き続き、設定した空撮区域において定期的にUAV空撮、現地実測調査を行い、得られたデータを用いて森林情報解析技術の開発を行う。UAV画像から解析された森林資源情報から調整伐実施効果を検証する。

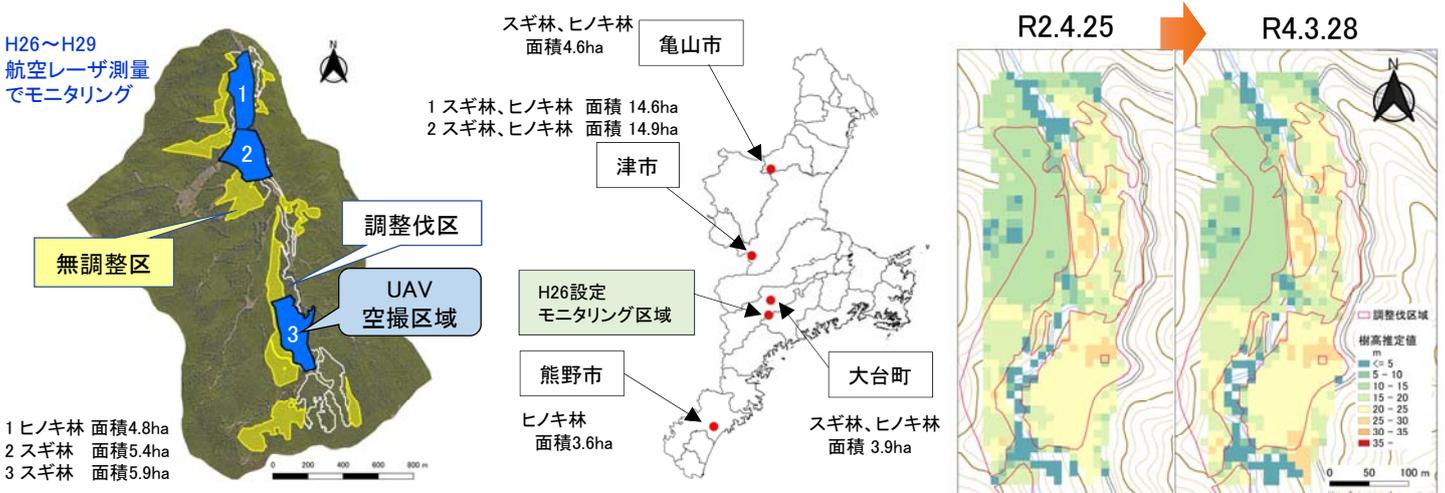


図-3. 平成26年度設定モニタリング区域内に設定した空撮区域の位置

図-4. 事業地に設定した空撮区域の位置

図-5. 解析結果から作成した10mメッシュ樹高マップの例(大台町モニタリング区域1)

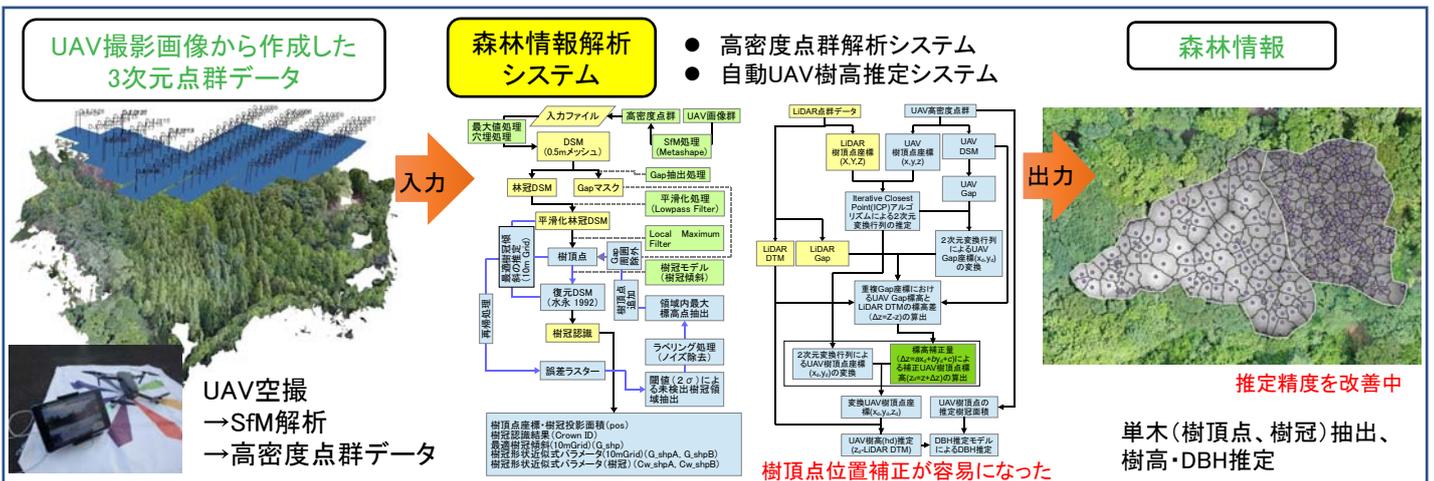


図-6. 開発中のUAVによる森林情報解析技術

項目3 整備森林における危険木発生状況調査 (R1~5)

目的

溪流部で実施している危険木(倒流木)除去による流木発生抑制効果を検証する。

方法

事業により溪流部の危険木除去を行った溪流(既整備溪流)における倒流木発生の実況について多点調査を行う。また、より効果的で除去効果の持続性が高い整備手法を検討するには、倒流木の発生要因、滞留状況、形態的特性、豪雨等に伴う挙動を明らかにする必要があることから、既整備溪流、未整備溪流に固定試験地を設定して倒流木の移動、発生、消失等のモニタリングを行う。三重大学との共同研究で実施する。

実施した内容

平成26、27年度に溪流部の危険木除去を行った伊賀、伊勢、尾鷲、熊野管内39箇所の既整備溪流、計23,220mで溪流部の踏査を行い、倒流木の位置、サイズや腐朽度等の形態的特性、発生要因等を調査した(図-7)。除去後に台風被害を受けた一部を除き、再発生した倒流木の材積は除去材積と比較してわずかであり、著しい台風被害などを受けなければ、長期間にわたって除去効果は維持されると考えられた(図-8)。倒流木の発生要因では、強風に起因する立木の根返りや幹折れ、溪岸侵食の割合が高かった(図-8)。また、令和元~2年度に設定した固定試験地(既整備溪流4、未整備溪流2)において、年1回の追跡調査を行い、倒流木の位置、倒流木の新たな発生と消失などを調査した(図-9)。

今後の予定

令和元~2年度に設定した固定試験地(既整備溪流4、未整備溪流2)において追跡調査を行い、危険木の発生、消失、移動状況を調査する。得られたデータの解析を行い、危険木除去による流木発生抑制効果を検証する。

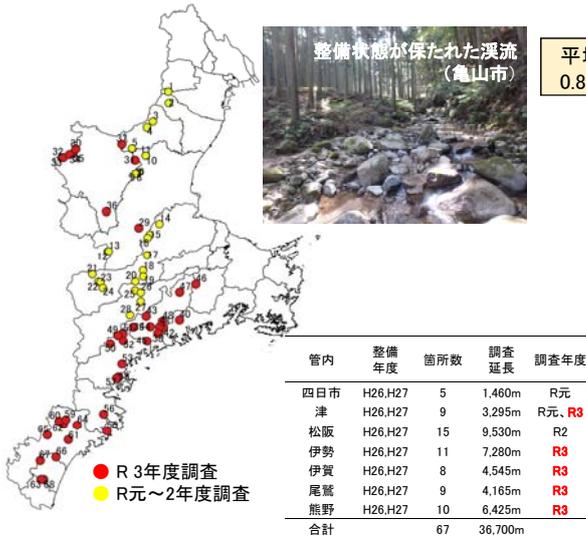


図-7. 既整備溪流の多点調査位置

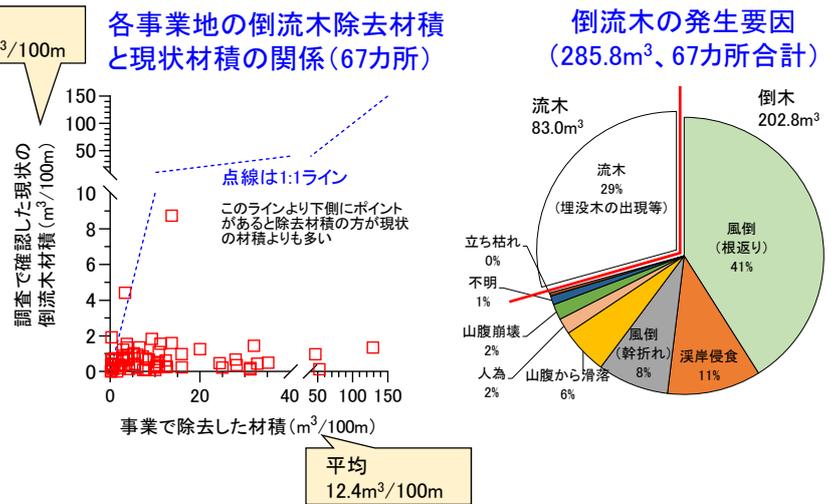
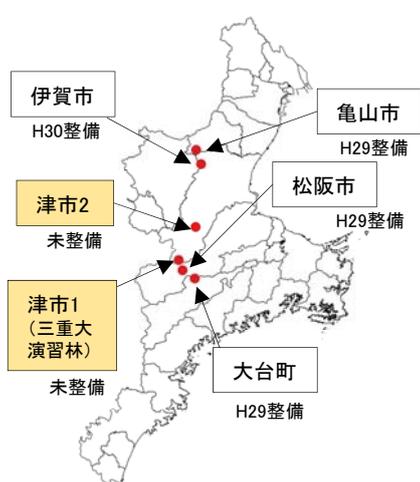


図-8. 既整備溪流の多点調査の結果



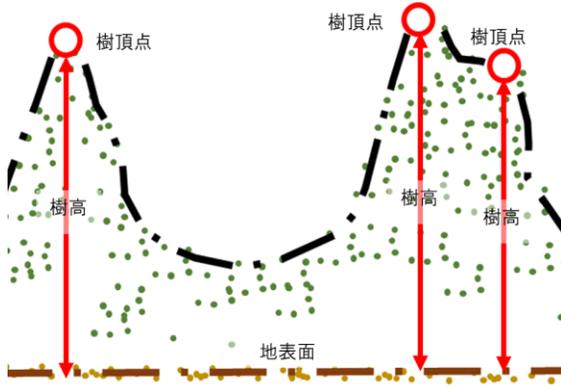
市町名	調査区間延長 (m)	平均勾配 (°)	集水面積 (ha)	調査開始時の倒流木量		調査開始時から令和3年度追跡調査までの倒流木挙動					
				(本*)	(本/100m)	期間(日)	期間雨量(mm)	最大日雨量(mm/日)	流下した倒流木数(本*)	消失倒流木数(本*)	新規発生倒流木数(本*)
既整備溪流 亀山市	559	4.9	108.1	71	13	891	4687	161	5 (7%)* ²	9 (13%)	22
既整備溪流 伊賀市	506	7.3	15.7	42	8	857	4844	109	3 (7%)	0	13
既整備溪流 松阪市	229	15.3	27.2	40	12	882	4888	225	6 (15%)	3 (8%)	7
既整備溪流 大台町	673	7	53.2	19	3	886	5832	206	5 (26%)	1 (5%)	9
未整備溪流 津市1	745	11.6	30.6	331	41	919	4942	296	2 (1%)	4 (1%)	28
未整備溪流 津市2	368	10	18.3	229	63	531	2225	108	1 (1%)	0	5

図-9. 固定試験地の位置と概要

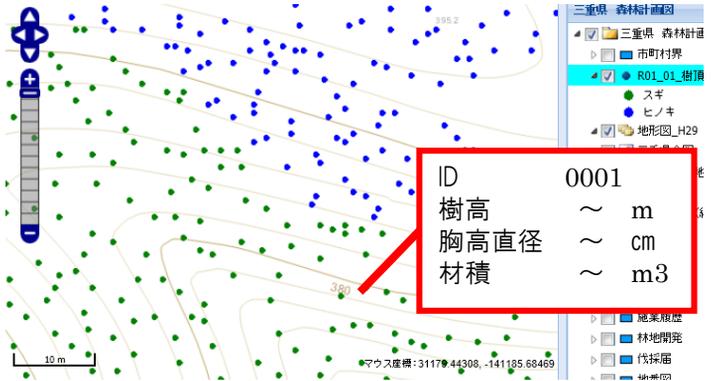
*1: 調査区延長間当たりの本数
*2: 括弧内は調査開始時の倒流木数に対する割合

樹種や樹高、立木密度、材積等の森林資源情報を正確に把握することは、森林整備を行ううえで重要であるとともに、精度の高い3次元地形データを取得することにより、災害発生の危険性の高い地域等を効率的に把握することが可能となることから、災害に強い森林づくりをより効果的に進めるため、航空レーザ測量を実施します。

① 樹頂点の位置を抽出し、単木情報（樹高や本数、太さ、単木材積）を推定・記録

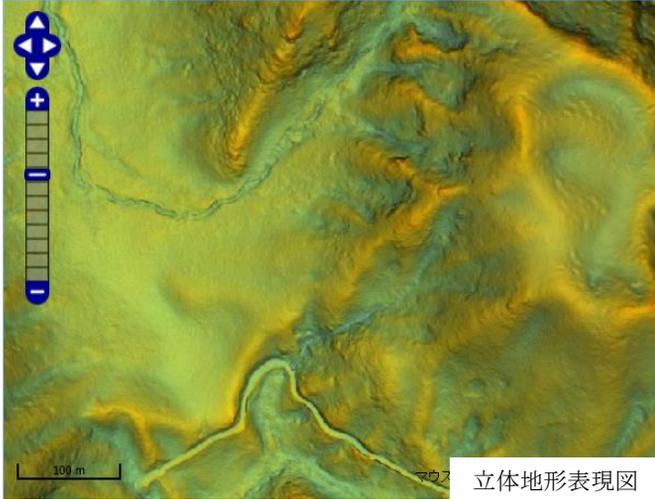


樹頂点の抽出イメージ



抽出した樹頂点データに、単木情報を記録

② 従来の地形図よりも詳細な地形情報の取得

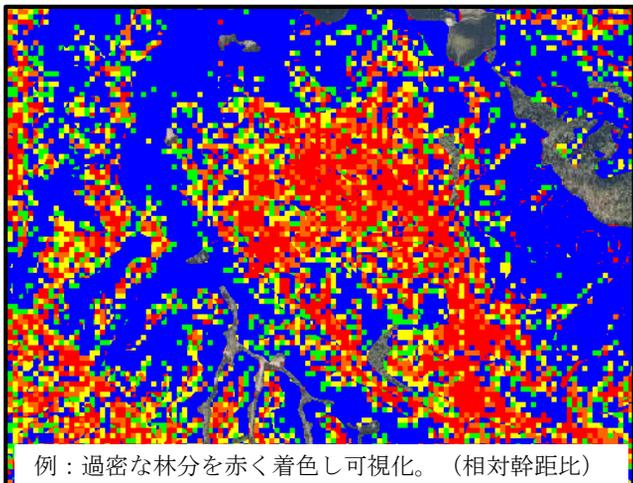


立体地形表現図

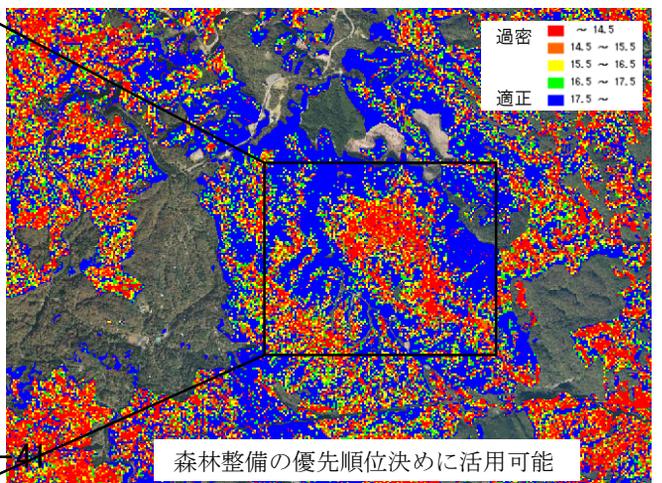


既存の地形図

③ 単木情報を林分単位（10m×10m）に集約し、森林の状態を可視化

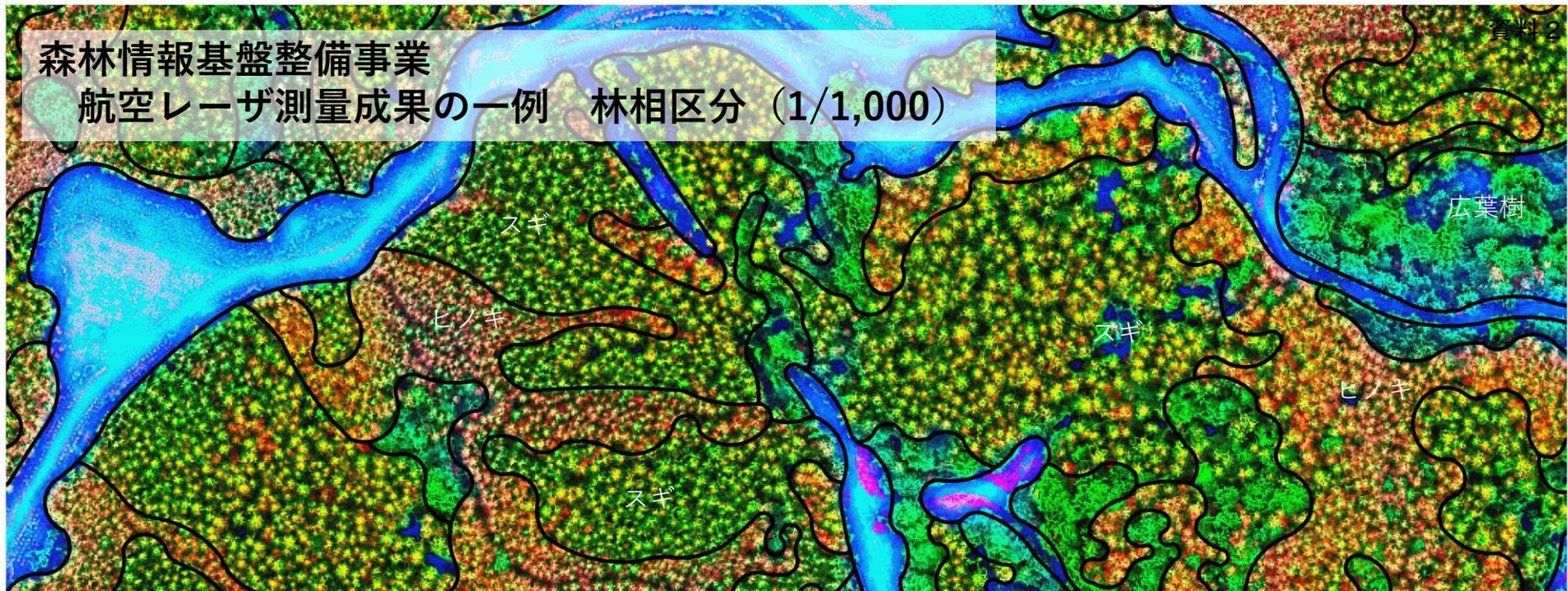


例：過密な林分を赤く着色し可視化。（相対幹距比）



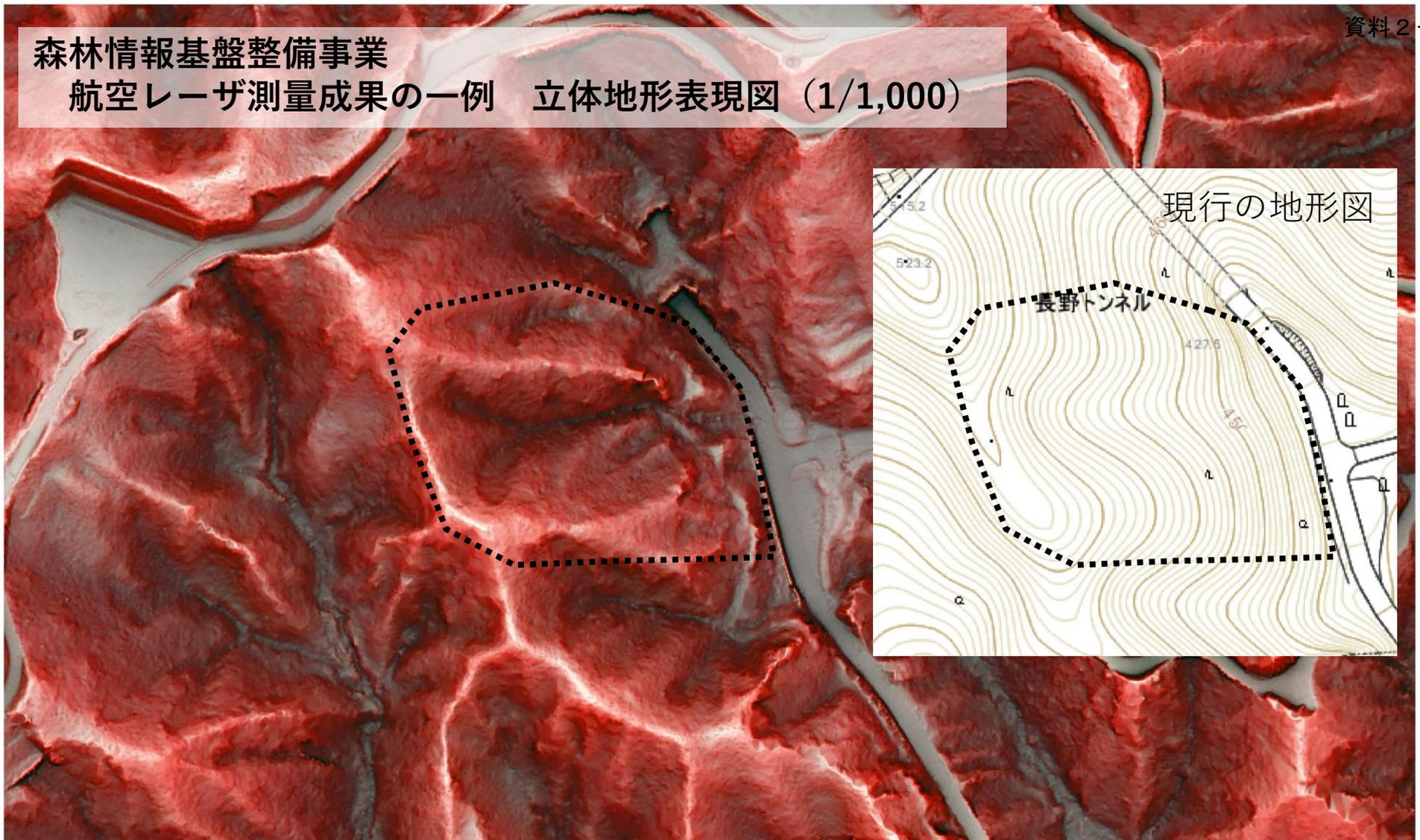
森林整備の優先順位決めに活用可能

森林情報基盤整備事業 航空レーザ測量成果の一例 林相区分 (1/1,000)



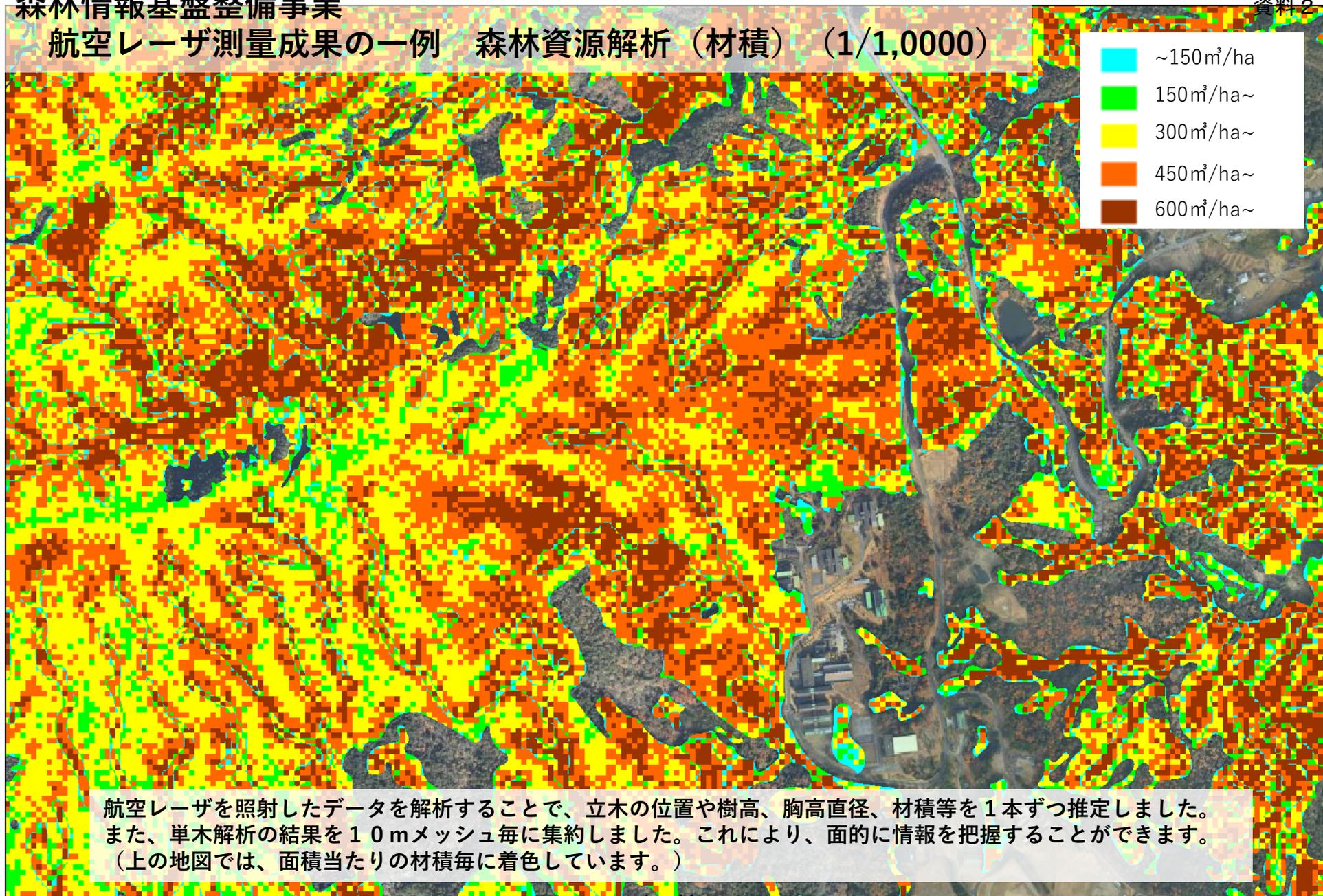
飛行機から照射したレーザの反射光の強さ等を用いて調製した「林相判読支援図」(上 背景)を活用することで、空中写真(下 背景)では影で見えづらい箇所についても、正確な林相区分(黒線)が可能となります。

森林情報基盤整備事業 航空レーザ測量成果の一例 立体地形表現図 (1/1,000)



飛行機からレーザ光を照射し、反射した位置を算出することで、詳細に地形を計測し、立体地形表現図を作成しました。現行の空中写真から作成した等高線図（右）では微地形は読み取ることができませんが、航空レーザ測量で作成した立体地形表現図（左）では、地形の崩れや浸食状況などを読み取ることができます。従来、現地に行かなければわからなかった情報が事前に机上でわかるため、危険で重労働であった現地調査を省力・軽減することができます。

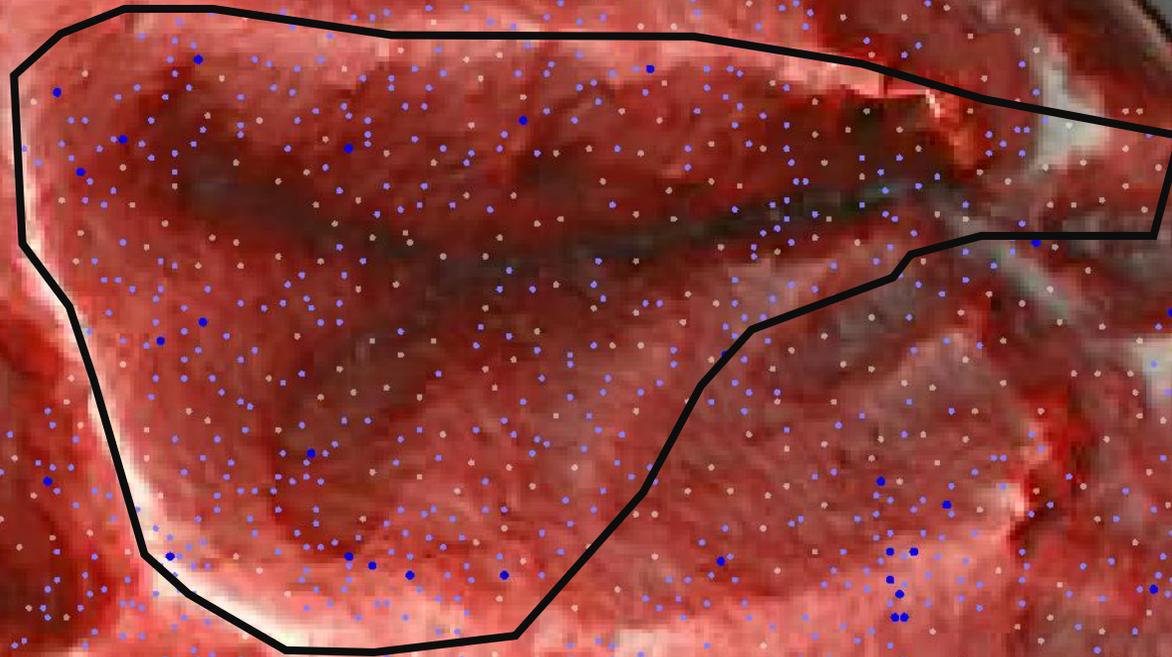
航空レーザ測量成果の一例 森林資源解析（材積）（1/1,0000）



航空レーザを照射したデータを解析することで、立木の位置や樹高、胸高直径、材積等を1本ずつ推定しました。また、単木解析の結果を10mメッシュ毎に集約しました。これにより、面的に情報を把握することができます。（上の地図では、面積当たりの材積毎に着色しています。）

森林情報基盤整備事業

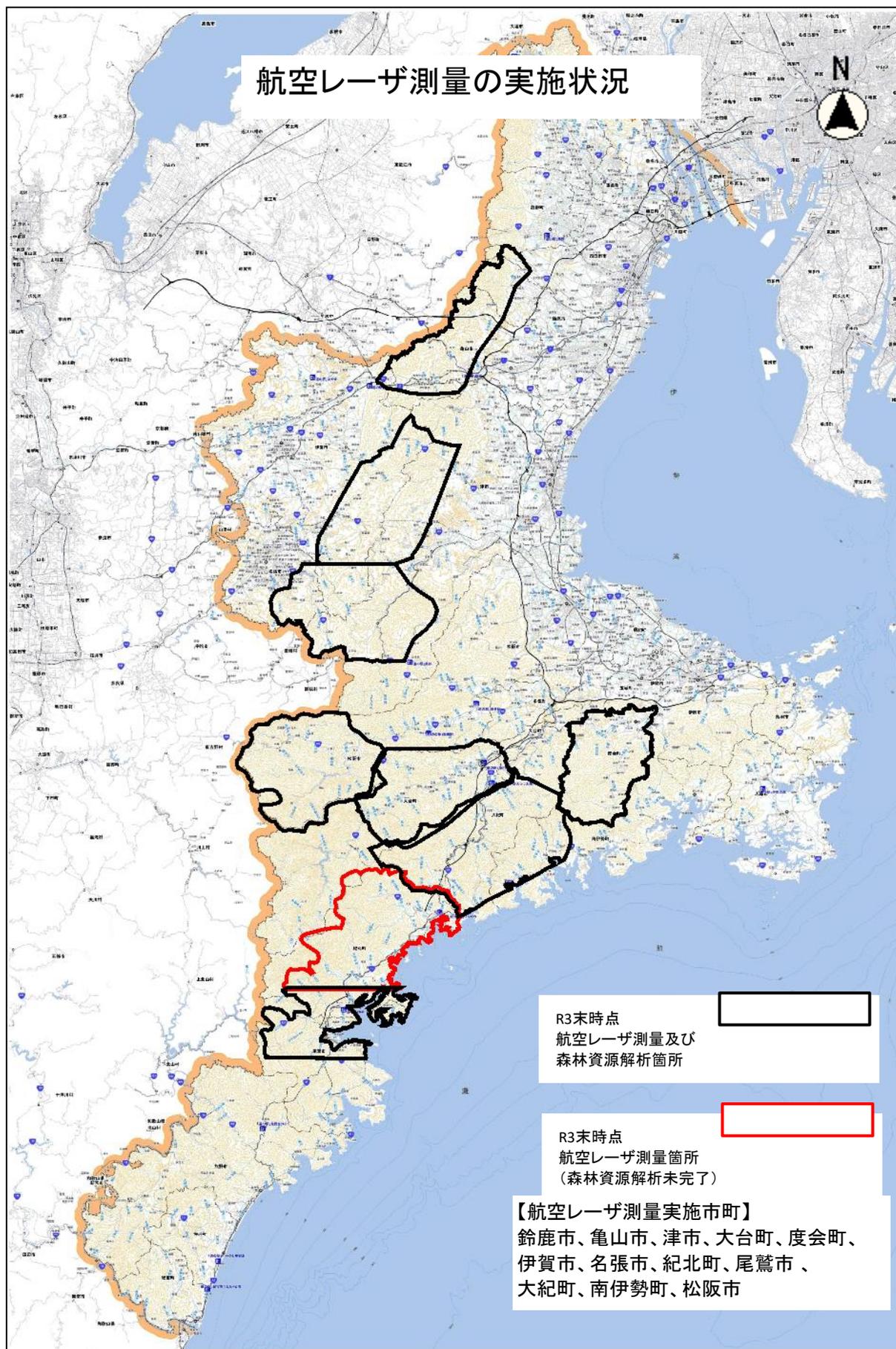
航空レーザ測量成果の組み合わせ例 単木解析（胸高直径） + 立体地形表現図（1/800）



胸高直径

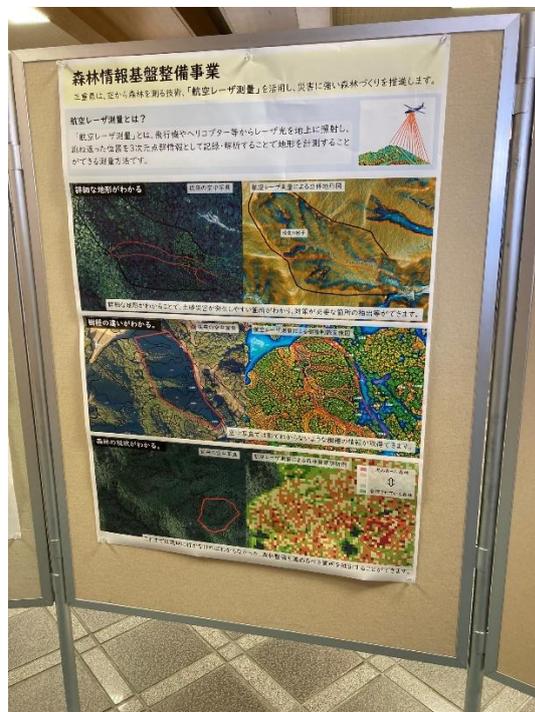
-  ~20cm
-  20cm~30cm
-  30cm~

これらの成果を単独あるいは組み合わせて活用することで、森林整備を進める林分を抽出することができます。
（例）立体地形表現図から溪流沿いの箇所を探索し、胸高直径が小さく流木化しやすい立木を可視化しました。



森林情報基盤整備事業の情報発信状況について

1 本庁舎 1 階 県民ホールでの展示



2 三重県ホームページへの掲載

本文 | Foreign Languages | 文字サイズ変更 | 元に戻す | 縮小 | 拡大 | 急の案内 | 標準 | 印刷

三重県 Prefectural Government

サイト内検索

現在位置: トップページ > 観光・産業・しごと > 森林・林業 > 森林・林業総合 > 森林計画 > 森林情報基盤整備事業について

担当所属: 県庁の組織一覧 > 農林水産部 > 森林・林業経営課 > スマート林業推進班

LINEで見る | 印刷する

森林・林業総合

- 急例/要請
- 届出/申請
- 森林・林業経営計画
- 森林計画
- 三重の森林・林業のすがた
- その他

森林情報基盤整備事業について

森林情報基盤整備事業とは

県では、災害に強い森林づくりをより効果的に進めるため、令和元年度からみえ森と緑の県民税を活用し、航空レーザ測量と航空レーザ測量成果を用いた森林資源解析により精度の高い森林情報の基盤整備を実施しています。森林情報の基盤整備により、整備が必要な森林や、山地災害や流木被害の発生のある森林を効率的かつ客観的に、机上で把握することができ、災害に強い森林づくりを確実に進めることができます。

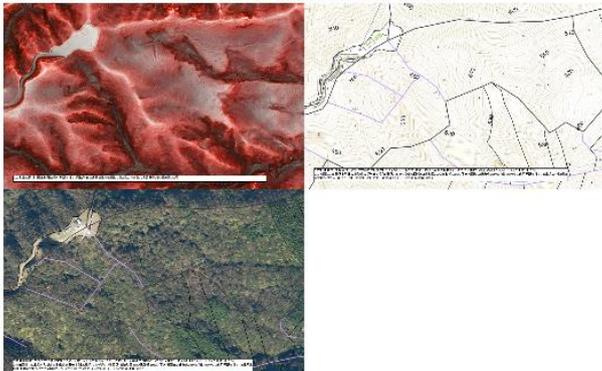
表_航空レーザ測量及び森林資源解析の実施状況

航空レーザ測量による詳細な地形データの取得

航空レーザ測量とは、飛行機やヘリコプター等からレーザ光を地上に照射し、地形を測る手法のことです。レーザ光は地表まで到達するため、従来の空中写真測量よりも詳細な地形データの取得が可能です。取得した地形データから傾斜や標高等を割り出し、地図上に表現することで、誰でも容易に地形を把握することができます。

以下に、航空レーザ測量による2種類の立体地形表現図（左上）と、それぞれ同一箇所を実施された空中写真測量による等高線地図（右）と空中写真（下）を掲載しました。

〔例1〕立体地形表現図の例（赤色立体地図：アジア航測株式会社調製、左上の図）



④－ア：森林教育体制整備事業

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

1 事業の目的

「森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりへ向けた教育」、「森林に関わる活動やビジネスを志すきっかけとなる教育」、「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」に取り組むことで、「みえ森林教育ビジョン」を実現し、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2 令和3年度事業の実績

(1) 森林教育イベントの開催

【森に集まれ！みえ森フェスタ 2021】

日時：令和3年11月20日(土)

場所：三重県民の森

目的：木工体験などを通じて、子どもから大人まで様々な世代を対象に、森の大切さや木材利用の意義についての理解を深めます。

参加者：一般県民 約 200 人（親子連れの参加が多く見られました。）

内容：三重県民の森に新たに設置された「みえ森林教育ステーション」のオープニングイベントと県民参加の植樹祭に合わせて、森林教育に携わる関係団体による木工など森林教育体験コーナーを設置しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、参加人数の制限を設け、参加受付はすべて事前申込制としましたが、たくさんの方に参加していただきました。



会場の様子

(森林教育体験コーナーの内容)

子ども向けコーナー	
三重の木かるたで遊ぼう！ (一般社団法人三重県森林協会)	親子木工教室・マガジンラックを作ろう (三重県木材組合連合会)
木の実でクリスマスツリーを作ろう (三重森林管理署)	松ぼっくり工作 (国立研究開発森林研究・整備機構 森林整備センター津水源林管理事務所)
生木から指輪づくり！グリーンウッドワーク体験 (三重県民の森)	木ホルダー作り (四日市市少年自然の家)
みえの木の箸づくり体験 (三重県農林水産部森林・林業経営課)	三重県産材で作る標本箱 (森の学校)
大人向けコーナー	
ヒノキ一枚板でつくる折り畳み脚テーブルづくり (三栄林産株式会社)	広葉樹のスプーン作り (身近な森の生活道具地元材家具店森と人の環)



生木から指輪作りコーナー



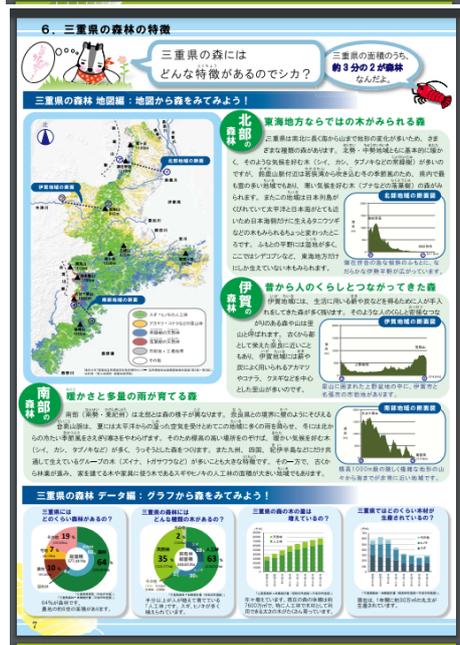
三重の木の箸づくりコーナー

(2) 副読本の作成

目的：小学校 5 年の社会科教科書に対応した副読本を作成し、森のはたらきや緑の循環、木材利用の意義などへの理解を深めます。

対象：県内の小学校 5 年（24,500 部作成）

内容：森のはたらきや緑の循環、木材利用の意義、校庭の樹木の CO2 吸収量測定ワーク、県内各地域の森林・林業の特色などをわかりやすく解説した副読本を作成、県内の小学 5 年生の児童全員に配布しました。配布した副読本は、学校の授業で使用されているほか、社会見学や出前授業の際にも活用されています。



(3) 森林教育プログラム等の作成・開発・実践

「みえ森林教育ビジョン」を実現するため、子どもから大人まで一貫した教育体制を構築し、主体的・対話的な学びを取り入れた教育手法の普及に有効な教育プログラムの作成や開発、またその指導者育成等を行いました。

① みえ子ども森林・林業アカデミー自然体験の開催

【子ども自然環境キャンプ めざせ！たき火マスター】

実施日：令和4年1月10日（月・祝）、16日（日）、3月13日（日）

場所：三重県民の森

目的：「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」を進めていくため、森林をフィールドに子どもの生きる力を育みます。

参加者：小学生15名（3年生から5年生）

内容：当初4日間のプログラムを新型コロナウイルス感染症対策のため3日間に短縮して開催。マッチを使った火おこしから、竹を使った食事に使う道具作り、そして、最終日には自分たちで考えた料理をたき火でつくり、みんなで食べました。

反応：参加した子供たちからは、「一発で火がつけられなかったけど、火を育ててご飯ができたのがうれしかった。」「次は木を切りたい。」「森が楽しい場所になった。」



最終日の活動発表(R4.3.13)



森の中で薪集めをしている様子(R4.3.13)

【森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育む指導者養成講座】

実施日・場所・内容：

- ・令和3年11月21日(日)林業研究所交流館（座学）
子どもの生きる力を育む自然体験活動～指導者としての心構え～
- ・令和3年11月23日(火・祝)上野森林公園（座学）
対象者を理解する～発達段階を踏まえた子どもたちとのかわり方～
- ・令和3年12月11日(土)速水林業太田賀山山林（座学・実習）
○森林における体験活動の実際～意義や効果、基本的な技術等について～
○フィールド（森林）についての理解を深める～環境に配慮した林業について～
- ・令和3年12月12日(日)三重県民の森（座学・実習）
自然体験活動における安全管理
- ・令和3年12月4日(土)国立曽爾青少年自然の家（先進地視察）
- ・令和4年1月10日(月・祝)、16日(日)、3月13日(日)
三重県民の森
(実践)「子ども自然環境キャンプ めざせ！たき火マスター」
において講師指導のもと、イベントスタッフとして実践

目的：「自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育」を進めていくため、森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育むことのできる指導者を育てます。

参加者：9名

反応：指導者養成講座の受講者からは、「声かけが難しい。」「子どもってすごいなと思った。もっとロングスパンで子どもと関わりたい。」「子どもたちの成長が見れて、うれしかった。」といった意見をいただきました。



講座でのグループワーク(R3.11.23)



実践で子どもたちの行動を見守り、声かけをしている様子（R4.1.16）

② 子ども向け講座の開催

【ジュニアフォレスター育成プレ講座】

実施日：令和4年3月12日(土)及び19日(土)

場所：三重県民の森

目的：森林や自然、野外活用等に関心のある子どもたちの学びの意欲をさらに高揚し、森林・林業及び持続可能な社会への理解を促進するとともに、子供たちの創意工夫や適応力、寛容さなどを養い、「生きる力」を育みます。

参加者：小学生12名（3年生以上）

内容：クイズ形式で森について学んだり、森を散策して自然観察や木の高さを図ったり、のこぎりを使った伐倒体験や、箸づくりや杖づくりなど、様々なことにチャレンジしました。

反応：「人の暮らしと森がつながっていることが分かった。」「林業についてもっと知りたいと思った。」「人間は木がないと生きていけないことを知った。」といった意見が聞かれました。また、講座前のアンケートでは「伐採」という言葉をネガティブな印象にとらえた意見がありましたが、講座後のアンケートでは木を伐ることを利用・活用と絡めてポジティブにとらえる意見が見られました。



森を散策して自然観察をしている様子
(R4.3.12)



杖づくりをしている様子
(R4.3.19)

③ 学生向けワークショップの開催

【みえ森林教育 学生ワークショップ「森や木や自然にふれあい、学び育む教育・保育を考えよう」】

実施日：令和4年3月3日(木)及び4日(金)

場所：オンライン開催

目的：将来、森林教育に携わりたいと考える学生などを対象に、森林や木、自然にふれあいながら学び育む教育・保育について考えます。

参加者：森林教育に関心のある学生等 14 名

内容：2日間かけて行われたこのワークショップでは、新海洋子氏をコーディネーターに迎え、みえ森林・林業アカデミー学長の太田東京大学名誉教授をはじめ8名の有識者をゲストスピーカーとして迎え、意見交換をしました。

みえ森林教育 学生ワークショップ (オンライン開催)

森や木や自然に ふれあい、学び、育む 教育・保育を考えよう

参加費
無料

森林教育ってなに？ 木育ってどんなこと？
森林や木、自然にふれあいながら学び育む教育・保育について、
県内外で活躍する第一人者をゲストスピーカーに迎え、
みんなで一緒に考えよう。

3.3 2022 木 - **3.4** 2022 金 9:30 - 17:00

開催方法 オンライン (Zoom)

主催 三重県

参加費 無料

対象 主に人学・短大・専門学校・大学校等の教育機関に在学する方で、森林・自然、野外体験等を活用した教育・保育・子どもの育ち、森のようちえん、木育などに関心のある方。

定員 10名程度
※先着順/県内近隣で、自保する方が優遇する場合があります。

申込方法 QRコード/三重県林業研究所ホームページ/みえ森林・林業アカデミー Facebook ページから募集受付フォームにアクセスしてお申し込みください。

申込期限 令和4年2月28日(月) 17:00
※受付を早急に終了する場合があります。

Moderator (一社) SDGs コミュニティ代表理事 新海洋子

1日目

09:30-09:45 あいさつ・オリエンテーション

●第1部 森林教育

09:45-10:00 Speaker 三重県林業研究所普及・普及教育課 木本愛知子
10:00-10:50 Speaker LEAF ナショナルインストラクター 吉田正木
11:00-11:50 Speaker 京都教育大学教育学部教授 山下宏文
12:00-12:50 ランチミーティング

●第2部 木育・木材利用

13:00-13:50 Speaker いなび協議会子ども普及員課 元いなび市立自然環境課長 栗山順子
14:00-14:50 Speaker 熊本大学大学院教育学研究科教授 田口浩雄
15:00-15:50 ティーミーティング

●第3部 交流会 (1)

16:00-17:00 ふりかえり・主に参加者どうしの意見交換

2日目

09:30-09:40 オリエンテーション

●第4部 持続可能な森林・林業

09:40-10:00 Speaker 三重県林業研究所林業人材育成推進部 山田長生
10:00-10:50 Speaker みえ森林・林業アカデミー学長 東京大学名誉教授 大田隆彦
11:00-11:50 Speaker みえ森林・林業アカデミー特別顧問 速水林業代表 速水孝
12:00-12:50 ランチミーティング

●第5部 森のようちえん・野外体験保育

13:00-13:50 Speaker (前) 森のふし舎理事 斎藤永慈
14:00-14:50 Speaker 岐阜聖徳学園大学短期大学部専任講師 木戸香絵
15:00-15:50 ティーミーティング

●第6部 交流会 (2)

16:00-17:00 ふりかえり・主に参加者どうしの意見交換

※ランチミーティング/ティーミーティング
ミーティングの際は、ゲストスピーカーも一緒に、お話を食べながら、おやつを食べながら、みんながワイワイ楽しめます。森林教育についてはもちろん、気になる話や雑談もOKです。お昼やおやつ、飲み物は各自で用意ください。

お問い合わせ 三重県林業研究所 普及・森林教育課 ☎ 059-262-5352 📠 059-262-0960 ✉ miefa2@pref.mie.lg.jp



参加募集案内チラシ

④ 幼児教育関係者向け交流会の開催

【保育・幼児教育における森林教育を進めていくために「どんな森林だったら保育・幼児教育に活用できるか知ろう！」交流会】

実施日：令和4年1月12日(水)

場所：林業研究所交流館

目的：全国的に広がりを見せている森林や自然を活用した保育・幼児教育をテーマとした交流会を開催し、保育・幼児教育における森林教育の課題解決に取り組みます。

参加者：保育園・幼稚園の保育士等7名

内容：県内で先駆けて「森の幼稚園」を開設した森林の風幼稚園の嘉成先生を講師に招き、森林教育に関心のある幼児教育関係者が出席して、森林を活用した保育・幼児教育の効果や様子、保育・幼児教育に活用できる森林について意見を交わしました。

反応：参加者アンケートでは、「ちょっとした工夫で子どもは自然と学び成長することが分かった。」「研修会や交流会を開催してほしい」といった意見のほかに、「森林へのアクセスが難しい。」「講師やアドバイザーを派遣してほしい。」といった意見も見られました。



参加者による事例報告の様子



意見交換の様子

⑤ 企業向け講座の開催

【森林教育 企業向け講座「SDGs 時代の企業における森林とのつきあい方について考える～三重の資源、森と木をどう活かすか～」】

実施日：令和4年1月28日(金)

場所：松阪市内

目的：企業（事象者）を対象に、代々手入れされてきた林業地を見学することで森林を知る体験や、森林の現状や森林を活用することの意義などについて学び、企業が森林との結びつきやビジネスチャンスなどを考える機会を創出します。

参加者：一般企業（事象者）7名

内容： みえ森林・林業アカデミー学長の太田東京大学名誉教授からの森林・林業についての講義を受けたあと、林業先進地の視察をし、その後、三重大学の青木教授をファシリテーターに招き、三重の資源、森と木をどう活かすかをテーマに意見交換しました。

反応： 参加者アンケートでは、「森と海のかげはし的な企業活動をしたたいと考え参加しました。実際の現場を見て森は海の入りが実感できました。」「重機がないと林業は成り立たないということが一番印象的でした。」「旧態依然とした業態では様々な活動の足を引っ張ることが多い。ノウハウを持っている強みを活かせるような、古き良きと共存、協働できるような柔軟性が必要。」といった意見をいただきました。



森林・林業に関する講義の様子



林業先進地の視察の様子

(4) 森林教育ステーションの認定

県民の皆さんに森づくりの大切さや木材利用の意義を広く普及するため、木製遊具や玩具に触れ、森林・林業について学べる常設型の森林教育施設として6つの施設の認定を行いました。

(森林木育ステーション認定施設の一覧)

ちびっこ木造ふれあい施設
(熊野市) R3.12.13 認定



御浜町中央公民館
(御浜町) R3.12.24 認定



安濃子育て支援センター「わくわくランド」
(津市) R4.2.24 認定



南伊勢町子育て支援センター
(南伊勢町) R4.3.14 認定



南伊勢町子育て支援サロン
(南伊勢町) R4.3.14 認定



名張市こども支援センターかがやき
(名張市) R4.3.17 認定



5 情報発信

実施した取組が、みえ森と緑の県民税を活用していることとあわせて、森林の適切な管理を行うことで「災害に強い森林づくり」を実現し、地域木材を利用するなど「県民全体で森林を支える社会づくり」の重要性について周知を図りました。



木工体験の際には、初めに、地域の森を守るためにも地域の木材を使うことが大切、といった説明をしました。

(森に集まれ！みえ森フェスタ)



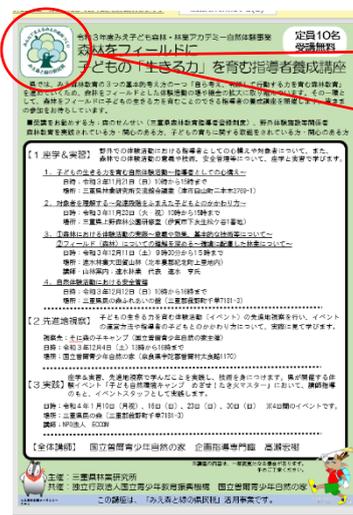
イベント会場の受付では、みえ森と緑の県民税ののぼりを設置するとともに、参加者に県民税のパンフレットなどを配布し、このイベントがみえ森と緑の県民税を活用して実施されていることを周知しました。

(森に集まれ！みえ森フェスタ)



各種講座会場にみえ森と緑の県民税ののぼりを設置し、この講座がみえ森と緑の県民税を活用して実施されていることを周知しました。

(ジュニアフォレスター育成プログラム)



各種イベント、講座などの案内チラシには、みえ森と緑の県民税のロゴマークとみえ森と緑の県民税を活用した事業であることを明記しました。

(森林をフィールドに子どもの「生きる力」を育む指導者養成講座)

この講座は、「みえ森と緑の県民税」活用事業です。

④-イ：みえ森づくりサポートセンター運営事業

担当課：林業研究所 普及・森林教育課

基本方針：②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分：③森を育む人づくり

1. 事業の目的

森林教育や森づくり活動に携わる人材の育成を図るとともに、これらの活動に地域や学校等で取り組みやすい体制を整えることで、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2. 令和3年度事業の実績

地域で行う森林教育や森づくり活動の促進を図るため、総合窓口として津市白山町の林業研究所内に設置した「みえ森づくりサポートセンター」を運営しました。

(1) 相談対応、情報発信

市町や学校、森林教育指導者（森のせんせい）等からの森林教育や森づくり活動に関する相談に随時対応し、活動のコーディネートや森林教育に関する情報収集、普及啓発を行いました。

また、ホームページ、SNS等で指導者養成講座、森の学校等の開催案内や、講座、出前授業、イベント等の実施状況を発信しました。

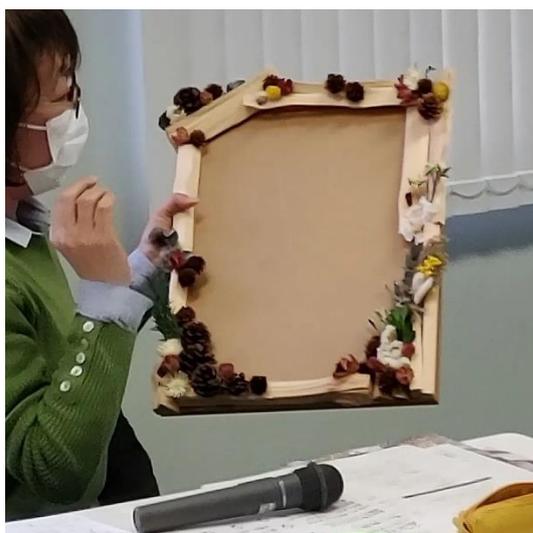
内 容	件数	調整・連携の相手
森林教育に関する相談対応	856	県・市町 279、学校等 226、森のせんせい 182、その他 169
森づくり活動に関する相談対応	13	森づくり活動団体 4、その他 9
森林教育に関する情報の収集及び発信		・森林づくりニュース発行（年3回） ・メールマガジン発行（月1回） ・ホームページ運営、 Facebook、Instagram による発信

(2) 指導者の育成

学校や地域での課題を踏まえ、森林教育の取組が幅広く推進されるよう「地域講座」を7回、指導者（森のせんせい）のスキルアップを目的とした「森のせんせいスキルアップ講座」を3回、学校での森林教育の取組促進を図るため、県教育委員会事務局との共催により学校教職員を対象とした研修を1回実施し、指導者の育成を図りました。

(指導者養成講座の実績)

講座名	開催日	開催場所	募集人数	受講人数
森林教育指導者養成講座：地域講座（7回）				
【四日市地域】知識編	令和3年 6月27日（土）	亀山市池山公民館及び石水溪周辺森林（亀山市）	15名	14名
【伊賀地域】野外活動安全管理	令和3年 7月11日（日）	三重県上野森林公園（伊賀市）	15名	19名
【四日市地域】技術編	令和3年 8月1日（日） 8月8日（日）	藤原岳自然科学館（いなべ市）	10名	12名
【松阪地域】木・木材編初級	令和3年 8月17日（火）	多気町立佐奈小学校（多気町）	20名	16名
【伊勢地域】木・木材編初級	令和3年 11月10日（水）	南伊勢町町民文化会館（南伊勢町）	10名	9名
【松阪地域】見学編	令和3年 12月23日（木）	ウッドピア松阪及び大台町内の森林（松阪市及び大台町）	15名	10名
【津地域】主体的・対話的で深い学び編	令和4年 3月26日（土）	三重県総合文化センター（津市）	10名	9名
森のせんせいスキルアップ講座（3回）				
LEAF ローカルインストラクター研修	令和3年 11月27日（土） 11月28日（日）	株式会社ひのき家及び周辺山林（大紀町）	10名	7名
コミュニケーション編	令和3年 11月13日（土） 11月14日（日）	四日市市少年自然の家（四日市市）	15名	15名
木・木材編中級	令和3年 11月10日（水）	南伊勢町町民文化会館（南伊勢町）	10名	3名
学校教育関係者対象の研修（1回）				
学校教職員森林環境教育研修	令和3年 7月30日（金）	三重県総合博物館	20名	15名



森林教育指導者養成講座
 (主体的・対話的で深い学び編)
 木製品を使ったプログラム作りなどを学びました。



森林教育指導者養成講座 (木・木材編 (初級))
 森のせんせいスキルアップ講座 (木・木材編 (中初))
 森のせんせいスキルアップ講座の受講生が、森林教育指導者養成講座の受講生の指導者となり、「はじめての絵本棚」作りに取り組みました。

併せて、指導者実践の場として、森林や木について楽しく学べることをテーマに、森のせんせいが講師となり森林散策や木工体験等を行う「森の学校」を22回計画しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いまん延防止等重点措置が発令された期間の開催を見送ったため、令和3年度17回の実施となりました。

(森の学校の実施実績：17回)

	開催日	開催場所	内容	参加数
1	令和3年 10月30日(土)	松阪ショッピングセンター	丸太切り体験とコースター作り	32名
2	令和3年 10月31日(日)	マーム (松阪市)	ペンダント作り	30名
3	令和3年 11月20日(土)	三重県民の森 (菟野町)	三重県産材で作る「森の標本箱」	12名
4	令和3年 12月12日(日)	四日市市勤労者・市民交流センター (四日市市)	森のたからばこ作り	40名
5	令和3年	三重県林業研究所	自然観察会	9名
6	12月18日(土)	(津市)	薪割体験	14名
7	令和4年	イオンモール東員 (東員町)	組子のコースター作り	49名
8	1月8日(土)		三重県産材マイ箸づくり	32名
9	令和4年		組子のコースター作り	51名

10	1月9日 (日)		葉っぱで遊ぼう	21名
11	令和4年		木のバードコール作り	20名
12	1月10日 (月祝)		丸太切り体験とコースター作り	29名
13	令和4年 1月15日 (土)	三重県立みえこどもの城	組子のコースター作り	50名
14			三重県産材で作る「森の標本箱」	18名
15			三重県産スギの椅子作り	8名
16			冬越しの生き物を探そう	50名
17			自然観察とネイチャーゲーム	41名
18	令和4年 1月29日 (土)	イオンモール津南 (津市)	組子のコースター作り	中止
19	令和4年	高田短期大学の森 (津市)	竹林整備と竹の小物作り	延期
20	2月11日 (金祝)		竹林整備とスタードーム作り	延期
21	令和4年 2月23日 (水祝)	イオンモール鈴鹿 (鈴鹿市)	小径木のコースター作り	中止
22	令和4年 3月5日 (土)	鈴鹿青少年の森 (鈴鹿市)	バードコール作り	中止
23	令和4年 3月6日 (日)	イオンモール桑名 (桑名市)	組子のコースター作り	中止



森の学校 (イオンモール東員)
組み木のコースターづくりに挑戦している親子



森の学校 (三重県立こどもの城)
三重県産材でつくる「森の標本箱」を作っている様子

(3) 森のせんせい等のネットワークの構築

森のせんせい等のネットワーク構築のため、北勢地域、中南勢・伊賀地域、尾鷲・熊野地域の3地域において座談会を開催しました。

地域	開催日	開催場所	参加人数
北勢地域	令和3年12月21日(火)	三重県環境学習情報センター	4名
中南勢・伊賀地域	令和3年12月22日(水)	三重県林業研究所交流館	6名
尾鷲・熊野地域	令和3年12月25日(土)	熊野古道センター	1名

(4) 出前授業

市町、学校、保育所等における取組を支援するため、学校等からの要望に応じて森林教育の指導者の紹介やプログラム作成等を行い、出前授業を実施しました。

(出前授業の実施実績)

	実施日	学校名	内容	参加人数等
1	令和3年 7月1日(木)	四日市市立塩浜中学校	森と木の話、木工	23名
2	令和3年 7月6日(火) 7月13日(火)	松阪市立南小学校	森林・林業の話、 林業体験	8名 8名
3	令和3年 7月8日(木)	四日市市立内部東小学校	林業体験	71名
4	令和3年 7月8日(木)	鈴鹿市立白鳥中学校	森林・林業の話、木工	8名
5	令和3年 7月12日(月)	津市立村主小学校	森林・林業の話、木工	16名
6	令和3年 7月14日(水)	亀山市立亀山南小学校	森林・林業の話、木工	35名
7	令和3年 8月30日(月)	桑名市深谷教育集会所	森林・林業の話、木工	中止
8	令和3年 9月14日(火)	明和町立上御糸小学校	森林・林業の話、木工	36名
9	令和3年 10月1日(金)	四日市市立富田小学校	森と木の話、木工	113名
10	令和3年 10月29日(金)	津市立橋北中学校	木の話、大工の実演	206名

11	令和 3 年 11月 9 日(金)	多気町立外城田小学校	森と木の話、木工	10 名
12	令和 3 年 11月16日(火)	桑名市立多度東小学校	森林・林業の話、木工	15 名
13	令和 3 年 12月 6 日(月)	東員町立城山小学校	森林・里山の話	30 名
14	令和 4 年 1月21日(金)	桑名市立長島北部小学校	森林・林業の話、木工	21 名
15	令和 4 年 1月27日(木)	鳥羽市立加茂小学校	森林・林業の話、木工	19 名
16	令和 4 年 3月 8 日(火)	いなべ市立三里小学校	里山学習、体験活動、 木工	36 名



出前授業（東員町立城山小学校）
森のせんせいから地元の里山に生える木の説明を受けている様子



出前授業（いなべ市立三里小学校）
森のせんせいから地域の間伐材の利用について説明をうけている様子

(5) 森林教育のコーディネート

森林教育活動を希望する市町、学校、保育所等からの要望に応じ、指導者の紹介やプログラム構築等のコーディネートを行いました。

森林教育活動コーディネート実績 (12 件)

実施月日	学校名	内容
令和 3 年 6 月 17 日	伊勢市立中島小学校 3 年生	森の話と自然遊び体験
令和 3 年 7 月 21 日	松阪市立港小学校 5, 6 年生	森林・林業の話
令和 3 年 10 月 14 日	伊勢市立城田小学校 1 年生	森の話と自然あそび体験
令和 3 年 10 月 27 日	私立津田大山田幼稚園年長・年中	ネイチャーゲーム体験
令和 3 年 10 月 28 日	伊勢市立宮山小学校 4・5 年生	森の話とクップ体験
令和 3 年 11 月 18 日	伊賀市立神戸小学校 5 年生	森林・林業の話と丸太切り
令和 3 年 11 月 18 日	伊勢市立宮山小学校 5 年生	伊勢市域の森林・林業の話と丸太切り
令和 3 年 11 月 22 日	伊勢市立中島小学校 6 年生	伊勢市域の森林・林業の話と丸太切り
令和 3 年 11 月 26 日	伊勢市立中島小学校 5 年生	伊勢市域の森林・林業の話と丸太切り
令和 3 年 11 月 30 日	伊勢市立中島小学校 1 年生	森の話と自然あそび体験
令和 3 年 12 月 2 日	伊勢市立城田小学校 3 年生	森の話と自然あそび体験
令和 3 年 12 月 3 日	玉城町立田丸保育所 5 歳児	葉っぱの話、丸太切り体験など



森林教育コーディネート
(伊勢市立中島小学校)

6年生 39 人を対象に、ヒノキの丸太切り体験の説明を受けている様子



森林教育コーディネート
(伊勢市立城田小学校)

3年生 40 人を対象に、自然体験を楽しんでいる様子

(6) みえの森フォトコンテストの開催

写真撮影を通して森林や木に親しみ、その大切さを知ってもらうことを目的に、「三重の森林」をテーマとした写真コンテスト及び写真教室を開催しました。

第 8 回みえの森フォトコンテストでは県内の 18 歳以下を対象に、小学生以下の部と中学生以上の部の 2 部に分け、森林や木と人の関わり等を撮影した写真を募集し、第 7 回を上回る 326 点の応募がありました。

第 7 回及び第 8 回みえの森フォトコンテスト入賞作品は県施設や大型商業施設等で展示しました。

開催日	イベント名	開催場所	対象者	募集人数	参加人数
令和3年 7月31日(土)	こども森の写真教室	三重県林業研究所(津市)	小中学生とその家族	7組15名	6組16名
令和3年 6月1日(火) ～10月10日(日)	第8回みえの森フォトコンテスト	—	県内 18歳以下	—	154名 326点

(参考)これまでの「みえの森フォトコンテスト」応募状況

年 度		応 募 数				
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
応募者数	小学生以下の部	18	14	26	27	61
	中学生以上の部	45	37	39	44	93
	合計	63	51	65	71	154
応募作品数	小学生以下の部	45	40	58	75	124
	中学生以上の部	53	60	86	126	202
	合計	98	100	144	201	326

みえの森フォトコンテスト入賞作品展示実績

	展示期間	展示場所
1	令和3年4月15日(木)～4月20日(火)	イオンモール津南(津市)
2	令和3年6月24日(木)～7月7日(水)	三重県立熊野古道センター(尾鷲市)
3	令和3年8月2日(月)～8月6日(金)	イオンモール四日市北(四日市市)
4	令和3年8月16日(月)～8月18日(水)	イオンタウン伊勢ララパーク(伊勢市)
5	令和3年10月29日(金)～11月3日(水祝)	松阪ショッピングセンターマム(松阪市)
6	令和3年11月20日(土)	三重県民の森(菟野町)
7	令和3年11月2日(木)～12月9日(木)	三重県立みえこどもの城(松阪市)
8	令和3年12月18日(土)	三重県林業研究所
9	令和4年1月8日(土)～10日(月祝)	イオンモール東員



(上) 小学生以下の部 最優秀賞作品
「タコの吸盤」
(右) 中学生以上の部 最優秀賞作品
「足元の世界」



(上) みえの森フォトコンテスト入賞作品
展示の様子

(右) こども森の写真教室チラシ

家族で楽しむ
**こども森の
写真教室**

**参加
無料** 令和3年7月31日(土) 10:00~13:00
場所：三重県林業研究所

講師：写真家 松原 豊さん

今日の写真家のレクチャーを受けて
林業研究所の森へ行こう!

【新型コロナウイルス感染症対策に関するお願い】
1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた「2重検温制」等に最善を尽くしますが、次第に従事変更、または開催中止する場合があります。
2. 本講座は「密」を避け、会場への事前参加が14日以内である方を、原則お申し込みの人数枠で受け入れます。
3. 高齢の方や基礎疾患をお持ちの方で、感染リスクを心配される方は参加をご遠慮ください。
本講座にあたっては、マスクの着用、こまめな手洗い、手指の消毒をお願いします。
4. スマートフォンを活用した「新型コロナウイルス接触確認アプリ」(COCA)の活用及び、「安心みえる100」のQRコードの読取取りに協力をお願いします。
本施設内において、チェックインのご記入と検温をお願いします。
5. イベントで発生した感染症、体調不良などの様子を随時ご報告ください。
主催：三重県（みえ森づくりリポートセンター） 協力：写真好学研究所
この写真教室は、「みえ森と緑の市民館」も活用して実施いたします。

(7) 三重県で作られた木のおもちゃを体験できる「ミエトイ・キャラバン」の実施

三重県で作られた木製遊具・玩具を「ミエトイ」と位置付け、それらを体験し、木の良さに触れてもらう場として「ミエトイ・キャラバン」を実施しました。

今年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、大型の木製遊具の設置を中止して定期的に消毒のできる積み木やけん玉など、小型の木製玩具を中心に展示、体験を行いました。

当初、7回の開催を計画し準備を進めていましたが、新型コロナウイルスの影響で実施できたのは1回のみでした。

(ミエトイ・キャラバン実績：1回)

開催日	開催場所	参加人数
令和3年 6月12日(土)、13日(日)	イオンモール東員 (東員町)	中止
令和3年 6月19日(土)、20日(日)	イオンモール鈴鹿 (鈴鹿市)	中止
令和3年 8月21日(土)、22日(日)	イオンタウン伊勢ララパーク (伊勢市)	中止
令和3年 9月4日(土)、5日(日)	イオンモール明和 (明和町)	中止
令和3年 10月30日(土)、31日(日)	松阪ショッピングセンター マーム (松阪市)	120名
令和4年1月29日(土)	イオンモール津南 (津市)	中止
令和4年2月23日 (水祝)	イオンモール鈴鹿 (鈴鹿市)	中止



ミエトイ・キャラバンの様子
松阪ショッピングセンターマーム
(R3.10.30)

(8) 物品の貸出

森のせんせい、森づくり活動団体、県市町および教育委員会等を対象に森林教育活動や森づくり活動に必要な物品等の貸出を 25 件行いました。なお、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症対策として、大型木製遊具の貸出は行いませんでした。

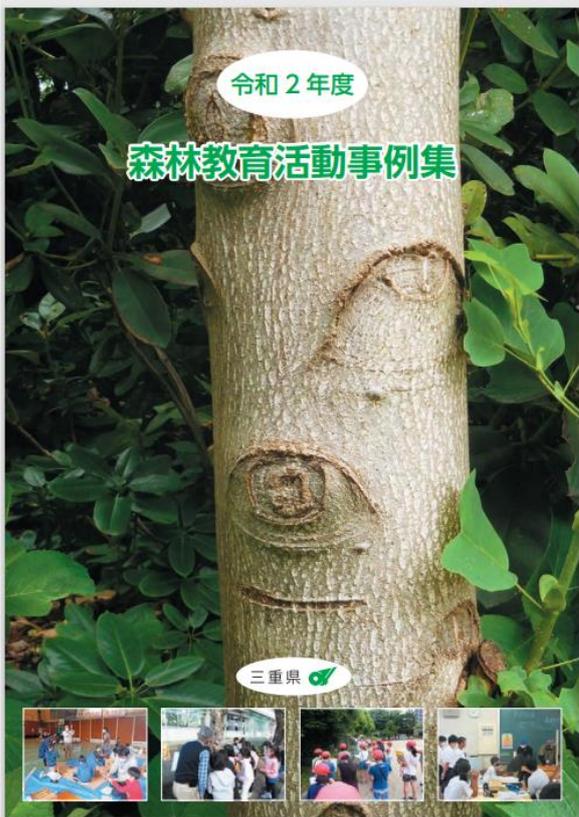
(貸出物品)

- ・森づくり活動に必要な資器材(ヘルメット、チャップス、丸太切り台 等)
- ・森林教育用教材(森のはたらきパネル、クップ 等)

(9) 活動事例集の作成・配布

学校等において、森林教育の導入や取組の参考となるよう、令和 3 年度に県内で実施された 27 の森林教育活動の取組を取りまとめた事例集を作成しました。

作成した事例集は、県内小中学校や関係機関へ配布するとともに、その内容をみえ森づくりサポートセンターのホームページに掲載しました。



01 森の話とペーパースタンド作り

桑名市立修徳小学校



森の写真を覚えてもらっています
削型の木材に型紙を作りませ
木になりまっ。学入木の大切さについて考えませ
森のせんせいにコツを教えてもらってペーパースタンドを作ります

ねらい

- ・森林のはたらきを学び、木の良さを体験する
- ・林業に携わる人から、地域の森林や林業の話聞き、森林や林業への理解を深める

取組内容

森の話では、森林による二酸化炭素の吸収や森のせんせいがどのように森の中で働いているのか、動物などで説明がありました。針葉樹、広葉樹などいろいろな木があることや鉄打ちや間伐が必要なのかという話を聞きました。子どもたちは、初めて知る林業という産業に興味をもち、その大切さを感じる事ができました。

ペーパースタンド作りでは、削型の木材にサンドペーパーで産産を作りました。削型の木をさわっていることが心地よきそうて、「けずりたくない」という子もいましたが、「地震があつても転がらないにしよう」と、一生懸命磨いていました。この活動により、木材の素材としての良さと、環境保全の大切さを学んでいくきっかけとなりました。

【先生のコメント】 いろいろな種類の木を、いろいろな形でさわることができ、木の善りや肌ざわりを楽しんでいました。特に、自分でサンドペーパーをかけた削型の木を、ずっとさわって楽しんでいました。

(10) 情報発信

森の学校や出前授業、各種講座などの会場には、みえ森と緑の県民税ののぼりを設置するとともに、各種イベント案内チラシにはみえ森と緑の県民税のロゴマークなどを添付し、みえ森と緑の県民税を活用して実施されていることを周知しました。



会場におけるのぼりの設置

出前事業 (R4.3.8 いなべ市立三里小学校)



会場におけるのぼりの設置

森の学校 (R4.1.8 イオンモール東員)



森林教育 指導者養成講座

定員
15名

受講
無料

三重県では、森林と私たちの暮らし、経済がともに持続可能で豊かな社会を作っていくために、「みえ森林教育」の取組を進めています。この取組をさらに広げていくため、森林や林業、自然に関心のある方に、みえ森林教育の指導者（森のせんせい）となっていただくことを目的に、森林教育指導者養成講座を開催しています。今回は、下記講座を開催します。皆さまの参加をお待ちしています。

■受講をお勧めする方

- ・森のせんせい → 今後「森のせんせい」に登録を希望する方 ・教職員 ・保育士
- ・日頃から森林や林業、自然に関連した教育指導をされている方 ・森林教育に関心のある方
- ・森林や林業、自然に興味のある方

[見学編]

森林教育を進めるにあたり、知識だけでなく現場を知るための講座です。林業や木材産業の実際の現場を見学し、従事者の方々から体験談などを聞いて、林業の基本的知識や森林の多面的機能、森林保全活動や木材の流通加工などへの理解を深めます。

日時：令和3年12月23日(木) 9:00～17:00 (雨天決行)

**場所：大台町の間伐・造林現場と
ウッドピア松阪 (松阪市木の郷町1)**

講師：宮川森林組合、ウッドピア松阪協同組合

過去に行ったウッドピア松阪見学の様子

大台町内 企業の森

主催：三重県 (みえ森づくりサポートセンター)

この講座は「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しています。

この講座は「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しています。

④一ウ: 森林教育施設整備事業

担当課: 林業研究所 普及・森林教育課

基本方針: ②県民全体で森林を支える社会づくり

対策区分: ④森と人をつなぐ学びの場づくり

1 事業の目的

多くの県民がいつでも森林教育が体験できる活動フィールドや木製遊具などが常設された施設を整備することで、森と県民との関係を深め、「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進します。

2 事業の必要性

木製遊具や玩具に触れ合える森林教育施設を整備することにより、木に触れる体験をすることが常時可能となります。

3 事業の内容

三重県民の森に森林教育実践フィールドや、常設型の木製遊具、玩具に触れ合える森林教育施設を整備します。

また、これらの施設を森林教育指導者の活躍の場として活用するなど、ソフト面でも充実を図ります。

4 令和3年度の進捗状況

(1) 三重県民の森「みえ森林教育ステーション」の整備

令和2年8月から令和3年6月にかけて、三重県民の森の自然学習展示館を改修し、「みえ森林教育ステーション」として三重県産のスギ・ヒノキを使用した木質空間の整備と木製複合遊具の設置を行いました。

遊具は、下層に迷路のような仕切りが付いた3つの高台とすべり台が組み合わさったもので、安全性に配慮しながら、子どもたちが自由に遊び方を考えて利用できるものとなっています。

また、ステーションは、床の段差やフローリングの節の有り無し、パーテーションを兼ねたベンチ、絵本スペースなどによってゆるやかに空間が区切られており、対象年齢や機能に応じた利用ができるゾーニングの工夫もされています。

設計にあたっては、県立伊勢工業高等学校建築科の皆さんに協力いただき、コンセプトの策定から基本設計などに携わっていただきました。

さらに、改修に際しては、新たに授乳室やおむつ替えスペース、トイレ個室のベビーチェアを設けるとともに、利用者アンケートで要望が多かったトイレの洋式化を行うなど、メインターゲットとなる未就学児やその保護者をはじめ、来館者が利用しやすい施設となるよう努めました。



ここから始まる 木とのふれあい 森との出会い



幼児の頃から木に触れ、森を知り、地域の自然について学び考え、将来、郷土の自然を愛し、地域の森林を守り育てていく人を育む場として、三重県民の森の自然学習展示館を、安心して楽しみながら木に触れ木のぬくもりや質感を体感できる施設としてリニューアルします。

Learning Zone
【5歳～】
木が育つ森や地域の自然について
学び・考える

Play Zone
【3歳～6歳】
体と頭を使って木のおもちゃで
おもいっきり**遊ぶ**

Feeling Zone
【0歳～2歳】
木のぬくもりや質感を
五感で**感じる**

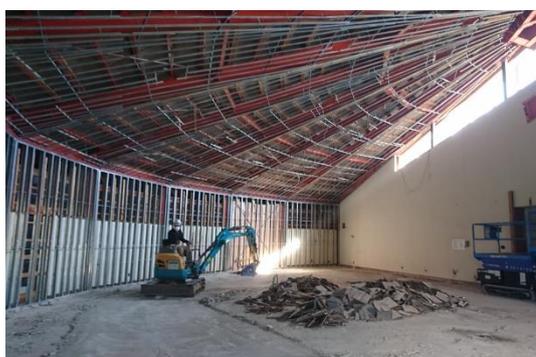
そして、森へ・・・
実際に森に入り
観察したり、**体験**する

各zoneのコンセプト

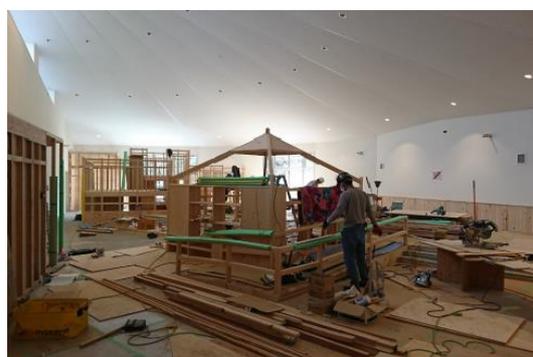
	対象年齢	コンセプト	イメージ	必要な整備
木育 ステーション	未就学児と その保護者	乳幼児が 安心して 楽しみながら 木に触れ、木を使って 木のぬくもりや質感を 体感 する	明るい 心地よい空間 地域の自然とつなが る	明るい照明 窓から明かりが入る 空調 外の森が見える 地域（県産）の木材を使う
	Feeling Zone	木のぬくもりや質感を 五感で 感じる	安全 床に座る 衛生面 一人遊び 保護者同伴	転んでも痛くない床 裏足で上がるスペース 角の取れた構造 保護者もくつろげる 掃除しやすい（汚れにくい）
	Play Zone	体と頭を使って木のお もちゃで思いっきり 遊ぶ	安全 立って遊ぶ のびのびできる 同年代との社会性	角が取れた構造 幼児サイズの遊具 目線に突起物が無い グループ遊びができる遊具 動ける空間（広さ）
	Learning Zone	5歳～	木が育つ森や地域の自 然について 学び・考える	見本・標本から学ぶ 読む・観察する 他人から学ぶ
そして森へ	-	森の中に入って、本物 の自然の姿を知り、 体験 する。	本物を体感	三重県民の森野外フィールドの活 用



改修前の自然学習展示館



内装解体工事（9月）



大型木製遊具建込み（11月）



完成後の森林教育ステーション



(2) オープニングセレモニー

平成 30 年に基本構想が始まったステーションの整備は、設計・工事を経て、令和 3 年 11 月 20 日(土)にオープンを迎え、同日、「森に集まれ！みえ森フェスタ 2021」のイベント開催に際して、オープニングセレモニーを行いました。

セレモニーでは、県立伊勢工業高等学校の関係者も出席して、生徒の皆さんが製作したステーションの木製看板の贈呈が行われ、また、当時、基本設計に関わった卒業生からは、ステーションのコンセプトや基本設計の趣旨などについてのプレゼンテーションも行われました。



木製看板の贈呈



オープニングセレモニー

(3) 運営状況

令和3年11月20日以降、ステーションは、絵本・玩具の配架の停止や消毒などの感染症対策に取り組みながら、午前・午後の1時間半ずつ、定員20名の予約制で運営しています。

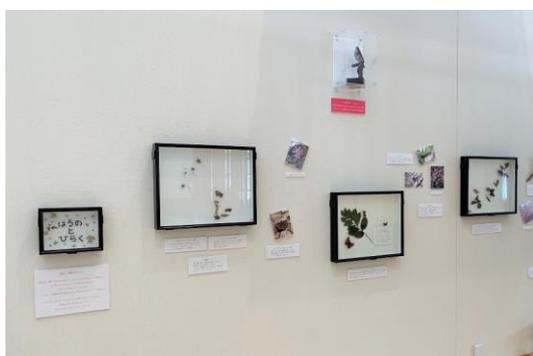
運営業務はNPO法人ECCOMが受託し、予約管理や感染症対策、遊具等の利用案内、展示・解説、絵本・玩具の貸し出し、メンテナンス等のほか、森林教育のイベントや森や木に関する絵本の読み聞かせ会なども定期的に行っています。



遊具で遊ぶ子どもたち



木工工作イベント



季節ごとの展示



木製玩具で遊ぶ子どもたち

生物多様性推進事業

令和 4 年 3 月末現在

1. 事業の目的

活動団体や県民・事業者・行政などが連携して取り組む生物多様性の重要性に関する普及啓発や自然環境保全活動を推進し、県民みんなで森林生態系等の生物多様性の保全が図られる体制づくりを行うことで、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性の保全を図ります。

2. 令和 3 年度の実績

(1) 野生生物の生息状況調査

生物多様性推進施策に必要な野生動植物種の情報を把握するため、県内の湖沼・河川等にて、現況の確認及び野性鳥類（ガン類、カモ類、ハクチョウ類、カワウ）の生息状況調査を実施しました。（県民税による委託分：175地点）

また、ウシモツゴ、カワバタモロコ等の希少淡水魚類の保全活動の一環として、基地生息地及びその周辺の池において、環境 DNA 分析を行い、生息状況を把握することで、生息域外保全等の保護活動に関する基礎資料としました。



野性鳥類の生息状況調査



写真. 環境 DNA 分析を行った池

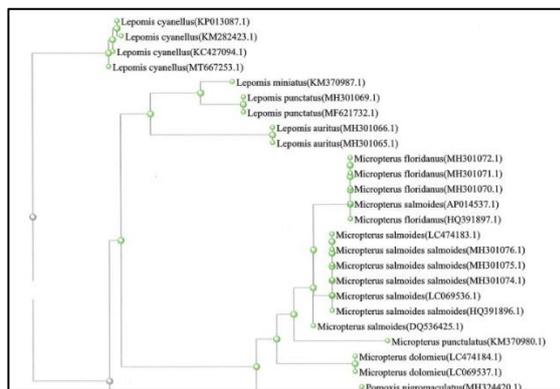


図. 環境 DNA 分析結果

(2) 希少野生動植物ゾーニングマップ

生物多様性の保全を推進するため、あらかじめ「生物多様性保全に関する特に重要なエリア」を示すことで、開発事業者に対して生態系への自主的な配慮を求める取組を行っています。令和元年度は希少野生動植物種主要生息地（ホットスポット）、令和2年度はヒメタイコウチの生息可能性区域についてそれぞれ地図化を行ったところです。令和3年度は近年、開発圧力の高まっている里山における生物多様性を保全することを目的に、里山環境を利用するサシバ（県指定希少野生動植物種）を指標生物として生息適地のゾーニングマップを作成しました。また、これらの地図を「三重県自然環境保全条例に基づく開発行為届出マニュアル」に掲載し、県ホームページから閲覧できるよう整備しました。

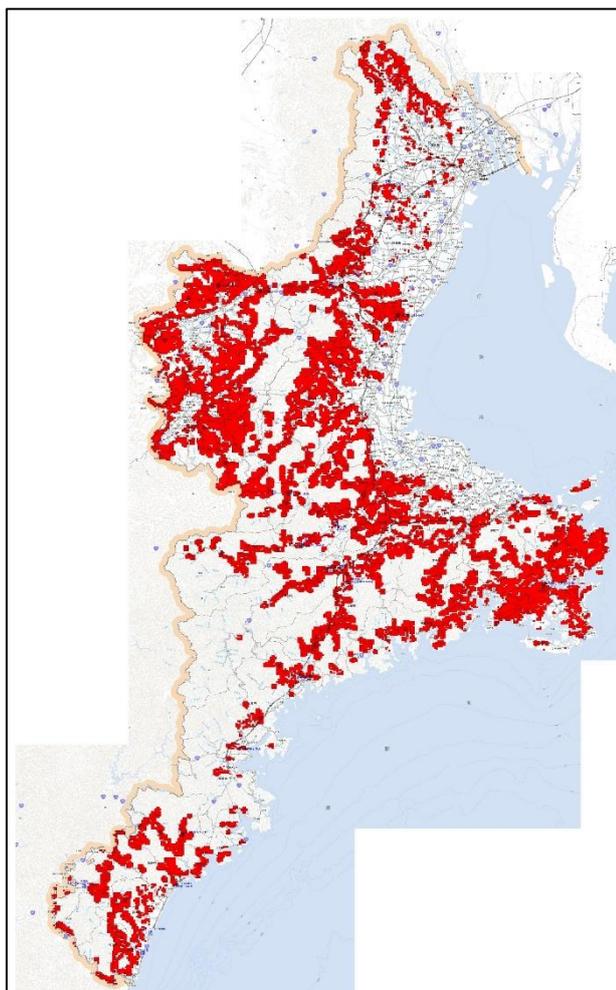


図. サシバ生息可能性区域の地図

(3) 自然環境保全活動の支援

生物多様性保全活動について、専門家の派遣を行うなどにより支援を行いました。(表 1 参照)

表 1. 自然環境保全活動の実施状況

対 象 種	活動時期	実 施 内 容
マメナシ	令和 3 年 4 月	保全活動団体、専門家とともに調査および保全活動を行った。
ギフチョウ	令和 3 年 4 月	保全活動団体、専門家とともに調査を行った。
ウシモツゴ	令和 3 年 11 月	保全活動団体、専門家とともに調査および保全活動を行った。
アゼオトギリ	令和 3 年 6 月	保全活動団体、専門家とともに保全活動を行った。
マイヅルテン ナンショウ	令和 3 年 5 月	保全活動団体、専門家とともに調査を行った。



写真. 保全活動の実施状況 (マメナシ)



写真. マメナシの花

森林とふれあう自然公園環境整備事業

令和 4 年 3 月末現在

1. 事業の目的

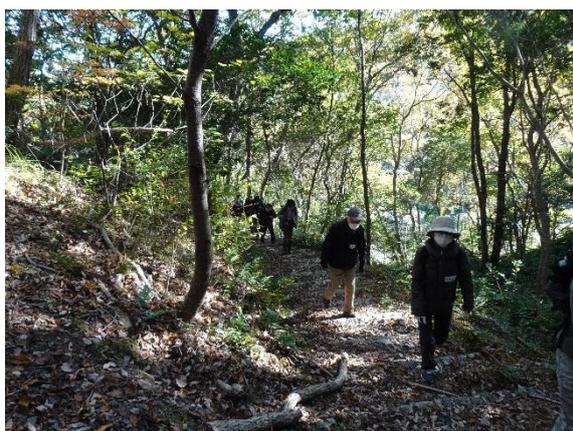
地域の活動団体や市町等と連携し、自然公園や森林公園を活用した森林教育のイベントやガイドツアーなどの推進と、自然公園や森林公園にある歩道等の施設整備を行うことにより、県民が森林や緑と親しむ機会を創出し、身近な緑や水辺の環境と県民との関係を深めます。

2. 令和 3 年度事業実績

1) 森林にふれあう活動の推進

県民が森林とふれあう機会を増大するため、県内にある自然公園内の園地や歩道、森林公園を活用して自然観察ツアーや森林教育イベントを行い、豊かな生態系の観察や森林のはたらきを伝えると共に、一人ひとりが健やかな森林を次世代に引き継ぐ大切さを感じることができる「県民全体で森林を支える社会づくり」のための森林教育と施設整備を行いました。

◆ 自然公園・自然歩道での取組状況



自然観察ツアー

ウォーキングツアーの状況



自然観察ツアー

ウォーキングツアーの状況



自然観察ツアー

ツアーガイドからの説明状況



自然観察ツアー

ツアーガイドからの説明状況



森林教育イベント（植樹体験）
参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）
参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）
参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）



森林教育イベント（植樹体験）
参加者による植樹状況
（自然環境保全活動）

◆大杉谷登山歩道での取組状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
ツアーガイドからの説明状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
ツアーガイドからの説明状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者による歩道の補修作業状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者による歩道の補修作業状況



自然観察ツアー&ボランティア整備
歩道補修（整備後）



自然観察ツアー&ボランティア整備
歩道補修（整備後）



自然観察ツアー&ボランティア整備
参加者によるゴミ拾い作業状況
（自然環境保全活動）



自然観察ツアー&ボランティア整備
集められたゴミ
（自然環境保全活動）

◆ 森林公園での取組状況

○ 三重県民の森



森林教育イベント「アスレチックをつくろう！」
参加者による木製アスレチックの整備状況



森林教育イベント「アスレチックをつくろう！」
参加者による木製アスレチックの整備状況



森林教育イベント「アスレチックをつくろう！」
講師からの説明状況



森林教育イベント「アスレチックをつくろう！」
二人両手引きノコギリ体験状況



森林教育イベント「アスレチックをつくろう！」
老朽化した木製アスレチック
(あみわくぐり)



森林教育イベント「アスレチックをつくろう！」
リニューアルされた木製アスレチック
(あみわくぐり)

○上野森林公園



森林教育イベント「親子で大工体験」
講師からの説明状況



森林教育イベント「親子で大工体験」
講師からの説明状況



森林教育イベント「親子で大工体験」
参加者によるヒノキの皮むき体験状況



森林教育イベント「親子で大工体験」
参加者による木製防護柵の整備状況



森林教育イベント「親子で大工体験」
老朽化した木製防護柵



森林教育イベント「親子で大工体験」
リニューアルされた木製防護柵



森林教育イベント「親子で大工体験」

参加者がヒノキの皮むきを行い
新しく作成された木製遊具（平均台）



森林教育イベント「親子で大工体験」

参加者がヒノキの皮むきを行い
新しく作成された木製遊具（平均台）

◆ 森林教育実績

自然公園名	自然公園施設名	実施場所	実施日	参加人数	内容
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	11月6日	6名	自然観察ツアー（神島ウォーキング）と海女さんふれあい体験
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び横山園地	志摩市	11月28日	15名	自然観察ツアー（横山ウォーキング）とクラフトづくり
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	志摩市	12月5日	16名	自然観察ツアー（和具ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市	12月11日	13名	自然観察ツアー（菅島ウォーキング）とクラフトづくり
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	鳥羽市 志摩市	12月19日	4名	自然観察ツアー（青峯山ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び横山園地	志摩市	12月20日	14名	自然観察ツアー（横山園地）と注連縄づくり
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道	南伊勢町	2月27日	9名	自然観察ツアー（古和浦ウォーキング）
伊勢志摩国立公園	近畿自然歩道及び横山園地	志摩市	3月6日	25名	自然観察ツアー（春の横山ウォーキング）
吉野熊野国立公園	大杉谷登山歩道	大台町	7月24, 25日	15名	自然観察ツアー（トレッキング）とボランティア整備（歩道整備、ゴミ拾い）
			10月23, 24日	8名	自然観察ツアー（トレッキング）とボランティア整備（歩道整備、ゴミ拾い）
鈴鹿国定公園	御在所岳園地	菟野町	10月9日	27名	森林教育イベント（植樹：自然環境保全活動）
自然公園外	三重県民の森	菟野町	2月27日	13名	森林教育イベント（木製アスレチック遊具整備）
自然公園外	上野森林公園	伊賀市	3月5日	22名	森林教育イベント（木製防護柵整備及び木製遊具作成）

3. 『みえ森と緑の県民税』による取り組みであることの周知方法

- ・自然観察ツアーや森林教育イベント（以下、イベントという。）の募集チラシや自然公園内での活動ポスター等に、『みえ森と緑の県民税』を活用していることが分かるように周知を行いました。
- ・イベントの参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』のパンフレットなどの配布を行い、開催時の最初に参加者に対して、『みえ森と緑の県民税』の目的や認知度確認、並びに参加しているイベントが『みえ森と緑の県民税』の取り組みのひとつであることの周知を行いました。
- ・イベント開催中は、『みえ森と緑の県民税』によるイベントであることが分かるように『のぼり旗』を設置し、イベント参加者以外の方々にもPRを行いました。
- ・植樹活動や施設整備の修繕が行われた箇所には、『みえ森と緑の県民税』を活用して行われたことが分かるように看板やロゴマークの焼印を設置しました。
- ・ホームページやSNSなどを活用してイベントの状況を掲載しています。
- ・県民ホールで、事業の内容と取り組み状況についてパネル展示によるPRを行いました。
- ・イベントを行った中には、テレビニュースやケーブルテレビで放送され、多くの方々にも情報発信がされました。

◆ イベント開催募集チラシや自然公園内の活動状況ポスターでの周知状況

チラシやポスターでの周知状況

活動目的やロゴマークなどを記載

◆イベント開催時に活用したパンフレット



◆イベント開催中での周知状況



イベント開催中での周知状況

「みえ森と緑の県民税」のぼり旗を設置

◆施設整備を行った箇所への周知状況



自然環境保全活動を行った箇所への周知状況

「みえ森と緑の県民税」の看板を設置
(御在所岳)



施設整備を行った箇所への周知状況

「みえ森と緑の県民税」のロゴマークを設置
(大杉谷)



施設整備を行った箇所への周知状況

「みえ森と緑の県民税」の看板を設置
(三重県民の森)



施設整備を行った箇所への周知状況

「みえ森と緑の県民税」の看板を設置
(上野森林公園)

◆ホームページでのイベント実施状況の周知

三重県 Mie Prefectural Government

Q サイト内検索 検索

[ホーム](#)
[暮らし・環境](#)
[防災・防犯](#)
[健康・福祉・子ども](#)
[スポーツ・教育・文化](#)
[観光・産業・しごと](#)
[まちづくり](#)
[県政・お知らせ情報](#)
[組織・業務](#)

現在位置: [トップページ](#) > [暮らし・環境](#) > [自然環境](#) > [自然公園](#) > [お知らせ](#) > 『みえ森と緑の県民税』を活用して、御在所岳山頂で自然環境保全活動イベントを開催しました！

担当所属: [県庁の組織一覧](#) > [農林水産部](#) > [みどり共生推進課](#) > [自然公園班](#)

[LINEで送る](#)
[印刷する](#)

自然公園

- お知らせ
- 三重の自然公園
- 国立公園満喫プロジェクト
- 長距離自然歩道

『みえ森と緑の県民税』を活用して、御在所岳山頂で自然環境保全活動イベントを開催しました！

三重県では、「みえ森と緑の県民税」を活用し、県民全体で森林を支える社会づくりに取り組んでいます。

今回、令和3年10月9日(土)に、「鈴鹿国定公園」内、三重郡菟野町の御在所岳山頂で、自然環境保全イベントを開催しましたのでご紹介します！

自然環境保全活動を行った箇所への周知状況

三重県ホームページへの掲載

◆ 県民ホールでのパネル展示による周知状況



◆ テレビ取材状況



森林教育イベント（植樹体験）
テレビ取材状況（御在所岳）



森林教育イベント「親子で大工体験」
テレビ取材状況（上野森林公園）

4. 参加者の意見及び感想

- ・ 普段一人では不安で行けないが、イベント開催をしてもらえると安心して参加させていただき楽しかったです。
- ・ ガイドの方の説明が分かりやすく、新たな発見や情報が得られ非常に勉強になった。
- ・ 他のコースのツアーやイベントにも、ぜひ参加したい。
- ・ 子ども達も初めての植樹体験ができて楽しめました。
- ・ また、改めて御在所岳に登りに来て、子ども達が植えた木を見に来たい。
- ・ 世界を救うような大きな木に育ててほしいです。
- ・ 歩道整備の作業が大変なことがよく分かった。また、参加したいです。
- ・ 三重県には豊かな自然があり、これからも守っていききたい。
- ・ ノコギリを使って木を切ったり、皮を剥いたり、普段できない体験ができてよかったです。
- ・ 木の話を聞けたり、いろんな経験をさせてもらえて、楽しく学ばせていただきました。